

交通Bulletin

2003 年 春季号

発行日：平成 15 年 4 月 1 日
発行：日本大学理工学部社会交通工学科教室
☎ 047-469-5239 (教室事務)
発行責任者：巻内勝彦
編集担当：福田 敦・長井裕美子
制作：株式会社 テイクアイ

DEPARTMENT OF TRANSPORTATION ENGINEERING AND SOCIO-TECHNOLOGY • COLLEGE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY • NIHON UNIVERSITY

■ CONTENTS ■

平成 15 年度 研究室紹介	2	海外出張	24
平成 14 年度 修士論文	10	助成研究・委託研究	25
平成 14 年度 卒業研究	10	平成 14 年度 各賞受賞者	26
平成 14 年度 教員の研究・活動		平成 14 年度 学生の活動	26
研究業績	13	平成 14 年度 就職状況	27
社会的活動	21		
学外学術活動	23		

やる気を引き出す秘訣は……？

社会交通工学科に着任して

社会交通工学科助教授 轟 朝幸

本年 4 月に社会交通工学科に着任した。平成 6 年に本学科を離任（当時は助手）して以来、9 年ぶりの復職であり、懐かしい環境に戻ったといったところである。離任後は、東京大学と高知工科大学で教育・研究活動に従事する機会に恵まれた。東大は良くも悪くも世間から常に注目を浴び、その中で常に前進しようとする姿勢の強さを肌で感じた。また、高知工科大は新設校であったため、常に新たな試みを模索しながら既往大学の取り組みより先んじようという前向きの姿勢が強かった。そんな環境のなかで、良い教育、良い研究、また積極的に社会貢献を行う大学のあり方やその方法について、私自身も常に考えるようになった。本学科でも、学科名称変更やカリキュラム改訂など、時代の要請への適応に前向きに取り組んでいるが、私の拙い経験を生かして、さらなる展開に貢献できるよう努力する所存である。

本学科に戻ってみて、本学科の特徴を改めて認識することがある。いくつか思い当たるが、紙幅の都合上 1 つだけ紹介したい。それは、積極的でやる気のある学生が多いことである。

着任してまだ間もないが、学生の積極的な姿勢に好感を覚えたことが幾度とある。特に院生の諸君の積極性には感心する。一部の授業で指導補助（Teaching Assistant）をお願いしているが、講義資料づくりや演習指導など、先を見越して対応してくれる。むしろ講義の準備を私が急かされているほどである。着任してすぐに、研究室の片づけを手伝ってもらったときも、重労働作業にもかかわらず、嫌

な顔せずに積極的に手伝ってくれた。おかげで部屋がずいぶん片づき、仕事ができる環境を早くつくることができた。勉学に対する積極性も感じることもある。我が研究室に配属になったゼミ生（卒研生）が最初に研究室を訪れたとき、「研究室は落ち着いて勉強できそうな環境なので、朝から来てもいいですか」と聞いてきた。卒研に関する勉強ではなく就職試験勉強がしたいとのことだったが、もちろんウェルカムである。他のゼミ生も、公務員試験や資格試験などに積極的に挑戦している。私が担当している科目「交通計画」などでも、前向きに勉強している学生が多いように思われる。交通を勉強したいという希望を持って本学科に入学してきた学生だけに、交通問題を扱う本科目は彼らにとって興味深いのだろうか。彼らの興味を失わないよう、しっかりと講義しなければと自らを鼓舞しているところである。

私も教育者の端くれであり、どのような教育をすべきかを日々自問自答している。学生の“やる気”を引き出し、持続させることがキーポイントであることは常に感じている。本学科にはやる気のある学生が多数在籍していることをうれしく思っているが、学生のやる気を引き出す秘訣は何なのかを、教育者として若輩者の私は未だに見つけあぐねている。この秘訣を明らかにすることができなければ、やる気のある学生をさらに増やすことは望めないだろう。今はただ、その答えを早く見つけられるようがんばりたい。皆様にもご指導ご鞭撻をいただければとお願いしたい次第である。どうぞよろしくお願い致します。

交通景観 研究室

天野光一 教授

岸上明子 助手



●研究室の目標

究極の目標

・「美しい国土、住みやすい地域、都市をつくる」

研究室の活動

- ・基礎的能力の育成、資料の収集、現地の見学
- ・究極の目標にかかわる研究の実施

研究分野：景観、観光、交通の各分野の研究およびそれらの分野を統合するような研究

●具体的研究テーマ

基本的には学生が興味のあること、やりたいことを提案し議論の上決定する

- ・景観原論
- ・景観計画・設計論
- ・交通空間（駅等の施設も含む）の計画・設計関係
- ・都市史関係：景観、交通、観光等に視座をおいた都市開発史研究
- ・観光計画関係
- ・地域づくり関係
- ・都市計画関係

本年度から比較的異色の人材岸上明子助手（東京外国語大学卒業後、フィリピン大学都市地域計画専攻にて修士号、

博士号を取得）が研究室のメンバーとなったので、アジアの都市にかかわる研究にも力を入れていくつもりである。

●ゼミナールの内容

- ・専門書、論文の輪読
- ・現地調査
- ・実務にかかわる調査等

●研究室に向く人、向かない人

・向く人

景色を見るのが好きな人、本を読むのが好きな人、議論をするのが好きな人、旅行が好きな人、雑学にたけている人

・向かない人

偉くなりたい人、本といえば漫画の人、体系的でなければ気のすまない人、成績が良いのが偉いと思っている人、研究室にくと就職が有利になるとと思っている人



オペラ通り、ピスタアイストップ景



チューリッヒ、トランジットモール

デザイン 研究室

伊澤 岬 教授

江守 央 助手



ちづくり・まちづくりワークショップの実践—

●ゼミナール・テーマ

- 各種デザインコンペへの参加
- 都市・交通空間ウォッチング

●卒業研究、ゼミナール着手条件

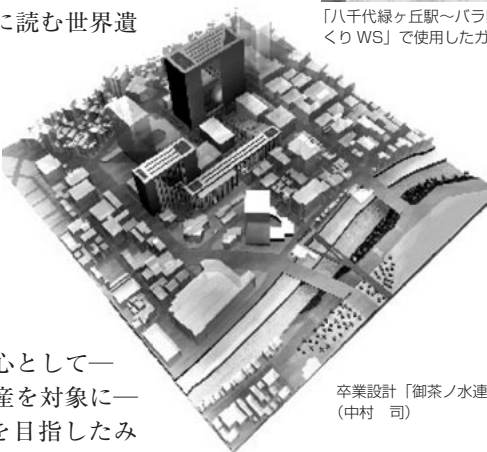
条件：景観設計・構造デザイン受講者、および受講予定者



「八千代緑ヶ丘駅～バラ園間のみちづくり WS」で使用したガリバー地図



八千代市交通バリアフリー基本構想策定における市民参加バリアフリー体験会



卒業設計「御茶ノ水連合大学キャンパス構想」レモン展出展作品（中村 司）

私たちの研究室は、大江戸線「新宿西口駅」「東新宿駅」や「船橋日大前駅・駅前広場」の設計などの実践を通して研究テーマを模索しております。その成果の一部として「交通空間のデザイン」（2000）を彰国社より刊行しました。

近年はNPO 活動を通じての市民参加型まちづくりにおいて、道づくりのワークショップなどを学生が企画運営し、ファシリテーターなどの体験も教育の一環に取り入れております。また、国土と都市における開発から再生へのモデルを世界遺産に学ぼうという視点から「地形に読む世界遺産」についての研究をスタートしました。

●卒業研究テーマ

本年度より論文のテーマを新設しました。

設計テーマ：

1. 都市再生・自然再生
2. ユニバーサルデザイン
3. 交通空間のデザイン

論文テーマ：

1. 交通空間のユニバーサルデザイン
2. 環境の空間評価について—特に地形を中心として—
3. 観光バリアフリー—京都の境内と世界遺産を対象に—
4. NPO 活動とまちづくり—バリアフリーを目指したみ

都市環境計画 研究室

伊東 孝 教授

川西崇行 副手



都市環境計画研究室では、都市計画（まちづくり）、景観（景観工学）、交通土木史（近代化遺産）を三本柱にしながら、歴史的まちづくりの実践、土木遺産のデザイン分析とさまざまな提案などに日々取り組んでいます。

◎まちづくり

21 世紀は、20 世紀型のスクラップ・アンド・ビルドの開発手法に代わって、まちのストック—歴史的な蓄積—を活かした「歴史的まちづくり」（歴史的遺産を活かしたまちづくり）が求められています。

当研究室では、これらの実践の一環として、過去 4 年間、鞆の浦（広島県福山市）での港湾遺産調査—住民参加型の調査—やワークショップを行っています。

◎環境・景観・美

都市空間の快適性や美の追求、あるいは、歴史的に育まれてきた環境のもつ美しさなど、さまざまな景観・デザインを見つめ、また考えていきます。

◎土木史・近代化遺産

先人の築いてきた優れた土木遺産を見ることが、知られざる土木遺産（近代化遺産）の発見と評価を目指しています。当研究室では自治体などの調査はもとより、国の史跡や重要文化財の調査、海外調査も行っています。

●研究テーマ（卒業研究テーマ／その他）

- ・瀬戸内の港湾・多島海景観についての研究
- ・都市近郊鉄道（軍用・工業用等専用線含む）の研究
- ・大都市圏環状道路計画の歴史的研究
- ・近代日本の都市法・建築法の研究
- ・近代ダムと発電所の文化財的評価の研究
- ・高速道路計画についてのオーラル・ヒストリー
- ・歴史的町並みの調査・研究
- ・東南アジアの文化財保護

●ゼミナール・テーマ

- ・研究発表（PowerPoint などを使用したプレゼンテーション全般の練習）
- ・各種の現地調査（鞆など）や文献調査

●卒業研究、ゼミナール着手条件

卒業研究を景観分野で行う学生は、「景観設計」を受講しないし受講予定であること。



鞆におけるワークショップ



万年橋（東京都青梅市・2003 年解体）

環境工学 研究室

岩井茂雄 助教授

野水雅之 副手



環境工学研究室の構成は、2003 年 4 月現在、下記の通りです。

- ・岩井茂雄（助教授）
- ・野水雅之（副手）
- ・大学院生（藤井健生、許 宗錫）
- ・卒業研究生（安宅哲二、飯島健二、真田 京）

学生各自が「環境」に基づいたテーマを選定し、研究を行っています。

昨年度は、5 月 2 日の懇親会や卒業研究中間発表も兼ねて 8 月 8 日～10 日に八海山でゼミ合宿などを行い、勉学と懇親に努めています。また、習志野祭にも積極的に参加し、「環境エコ・プランⅢ」と題して学生独自のプログラムを用意し、環境や研究内容に関する模型やパネルの展示を行いました。さらに平成 13 年度は、7 月 14 日に江戸川水フェスタ、7 月 20 日に船橋港清掃イベント、10 月 28 日には東京湾・三番瀬クリーンアップ作戦など多くのイベントにも参加しています。

●卒業研究テーマ

- ・アクティブノイズコントロールを利用したタイヤ／路面騒音の低減に関する研究
- ・珪砂のイオン吸着効果に関する研究

・水質浄化機能を有するブロック舗装の開発

●ゼミナール・テーマ

環境計測方法と環境データの処理方法を習得した後、既存の調査データや卒業研究のデータの処理と分析を通じて環境を客観的に捉える手法を学びます。

ゼミ 2 の後半では、卒業研究で得られたデータをもとに、その処理と分析を OJT として実施します。

●卒業研究、ゼミナール着手条件

- ・特になし。環境問題に興味を持った方であれば、誰でも可です。
- ・興味があるテーマを持っている場合は、相談の上卒業研究として取り上げることにしています。



ヒートアイランド現象を緩和するブロックの開発紹介（2001 年 11 月、東京ビッグサイト）



日大理工・習志野祭での研究室紹介

基礎力学 研究室

下 辺 悟 助教授



わが国の国土は急峻な地形が多く、地質構造が脆弱です。しかも、台風の常襲地帯でかつ地震多発地帯でもあります。それゆえ、土砂災害などの自然災害が多いのもうなずけます。こういった地盤災害の防災対策を施すのは言うに及ばず、災害の発生を簡便・迅速に、かつリアルタイムでモニタリングする検知技術の確立が切望されています。一方、近年の環境問題意識の高揚とともに天然素材の有効活用がクローズアップされ、生活に身近な諸分野への利用が期待されています。

本研究室では、数年前より ADR 土壤水分センサーなどの各種最新センサーを用いて地盤防災（斜面崩壊、堤防の漏水検知など）の簡便なリアルタイム・モニタリング技術を探求しています。また、珪藻土という優れた天然素材の諸特性を利用した、土木・環境分野への有効活用に関する研究も、試行錯誤ながらも環境地盤工学の視点からチャレンジしているところです。

◎研究室の場所 7 号館 1 階 7110 室

◎研究室の構成員 下 辺 悟助教授（交通 10 期生）、卒 研 生 4 名（予定）

◎主な研究テーマ

- ・ ADR 土壤水分計の適用性と地盤防災の検知技術への

応用

- ・珪藻土の素材特性と土木・環境分野への有効活用
- ・土の実用的分類の構築とその利用

●卒業研究テーマ

- ・地盤防災の検知技術
- ・珪藻土の有効活用

●ゼミナール・テーマ

身近な土を対象に、下記のテーマに沿って資料配付、ppt などで輪読・ディスカッションし、最新の各種センサーを駆使して室内実験などでその実証データを得るという形式でゼミを実施する予定です。

- ・天然素材「珪藻土」を科学する
- ・怖い「地盤災害」とその防災対策
- ・各種土の基礎実験およびモデル実験
- ・建設現場・研究所見学

●卒業研究、ゼミナール着手条件

主な研究テーマが地盤材料の基礎・基本ならびに地盤防災・環境地盤工学への応用に関するものなので、興味のある方ならどなたでも大歓迎です。

交通計画第二 研究室

高田邦道 教授

小早川 悟 助手



交通計画第二研究室では、従来から交通技術をベースにした交通計画の構築を目指して研究を進めています。具体的には、「地区交通計画」、「物流施設計画」、「都市交通計画」などの方法論を成果として挙げてきました。この中で解き切れていない問題として、「路上駐車 of 路外への排除」、「公共交通システム構築のためのアクセス支援」、「地区物流計画の構築」、「車抑制のための住民判断への情報提供方法論」、「自転車・バリアフリー導入による道路整備計画」、「交通事故対策への科学的アプローチ」等々が挙げられています。これらの問題を、『地球環境を考える交通技術』という視点から解いていこうと考えています。

●卒業研究テーマ

- ・都市交通管理の視点からみた駐車マネジメントに関する研究
- ・月極駐車場の有効利用に関する研究
- ・端末物流システム構築のための社会実験に関する研究
- ・自転車道導入に関する研究
- ・道路空間の有効利用に関する研究
- ・交通安全対策とその効果に関する研究
- ・アイドリング・ストップ・システムに関する研究

- ・路上駐車に関する研究

- ・非日常的交通に関する研究

- ・地方都市の活性化と現状に関する研究

●ゼミナール・テーマ

高田邦道教授による講義「これからの交通工学」等「CO₂と交通」の輪読および発表

セミナー、シンポジウム、講習会等の参加

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通総論、流通工学、交通現象解析Ⅰ、交通現象解析Ⅱを受講していること。



ポケット・ローディング・システムの社会実験

運輸交通計画 研究室

轟 朝幸 助教授



本研究室では、「活力ある国土・地域づくりのために交通をマネージすること」を目標として研究を行います。キーワードは「交通まちづくり」「インターモダリズム」。交通まちづくりとは、地域の交通施設や交通サービスを改善して、生活や産業活動をサポートし、地域を元気にしようとする概念です。交通まちづくりの“まち”は空間的広がりを含み、国土や地方、都市、街などを包含しています。インターモダリズムとは、道路や鉄道、バス、空港・航空、港湾・船舶といったあらゆる交通手段を有機的につなぎ、時空間的に、また料金などサービス面においてもシームレスな移動を可能にしようとする概念です。インターモダリズムを標榜して交通まちづくりを実践するための理念や政策、理論、技法などについて研究を進めます。

本研究室は本年度設立したばかりであり、具体的研究テーマや研究室活動は、配属となった学生諸君らとともに考えながら方針を固めます。

●研究テーマ

- ・インターモダリズム……シームレスな交通体系をつくる
- ・公共交通（鉄道、バス、LRT など）による地域活性化
- ・地域 ITS による公共交通活性化

- ・地域 ITS 推進のプロジェクトマネジメント
- ・魅力ある観光地づくりと交通
- ・国際観光流動の動向と観光交通計画（航空輸送やクルーズ船による周遊観光）
- ・空港の利便性向上による交流活性化
- ・港湾機能の再構築と港湾空間の再生による“みなとまちづくり”
- ・交通関連企業の経営戦略
- ・交通施設整備投資効果の総合評価
- ・都市政策支援のための都市評価

●ゼミナール・テーマ（予定）

- ・交通政策課題の真相を探る
- ・交通計画などに関する文献の輪読

●卒業研究、ゼミナール着手条件

原則として交通計画を受講していること。



情報工学 研究室

中山晴幸 専任講師



情報工学研究室は、大きく分けて 4 つのテーマについて研究を進めています。①ドライバーの疲労に関する研究、②歩行者の歩きやすさに関する研究、③ GIS（地理情報システム）を用いた交通環境に関する研究、④ビジネス用航空機の運用に関する研究です。

ドライバーに関する研究では、運転中のドライバーの操作挙動について心理的、身体的にさまざまな計測（アイカメラ、心電図、血圧、乳酸値、ホルモン分泌、運転操作、GSR、心理テストなど）を実施して運転と疲れの関係を調べています。

歩行者に関する研究は、地下鉄駅構内における「歩きやすさ」を考慮した案内システムの構築や、歩行者空間における歩行者の歩行挙動をシミュレートするシステムの構築を行っています。また、視覚や聴覚に障害を持つ人々への歩行支援の方法についても検討しています。

GIS とは Geographical Information Systems の略で地理情報システムと訳されていますが、このシステムを利用して端末交通の選択に関して推定できるシステムの構築や、大学周辺の環境が過去からどのように変化してきたかを分かりやすく提示できるシステムの構築などを構築しています。

ビジネス用航空機は、航空会社の定期便とは違い、企業などが仕事のために保有するあるいはリースする航空機（飛行機やヘリコプター）を指しています。日本では未発達の交通手段ですが、海外では欧米を中心に数多く運用されています。研究では実際に運用する際のさまざまな問題点について検討しています。

●ゼミナール・テーマ

ゼミナールでは、研究に必要な情報処理手法に関する講義や演習を行います。本年度のゼミナール 1 テーマは、情報処理技術者試験を受験するための基本的知識に関する勉強を行います。

●卒業研究、ゼミナール着手条件

とくにありませんが、プログラミングを修得したか現在受講中であることが望ましいと考えます。



アイカメラを用いたドライバーの視点調査

交通システム 研究室

福田 敦 助教授

長井裕美子 助手



交通システム研究室では、さまざまな交通問題へシステム工学的アプローチによって取り組むことを基本としています。問題に応じて数理計画的手法に基づくモデルやシステムの開発を行い、これらを、交通問題が深刻な開発途上国の交通状況の解析や交通政策・交通プロジェクトの評価の問題に適用し、実際に問題解決に貢献することを目標としています。

最近、開発に力を入れてきたモデルは、大型車の流入規制やロードプライシングなどの政策が交通走行状態に与える影響を分析するための利用者均衡配分法、消費者の曖昧な商業地選択を推計するためのファジーロジットモデルなどです。さらに昨年からは、交差点の制御やバスの運行方式などの改善策を総合的に評価するための交通流シミュレーションモデルやプローブカーシステムを活用したモニターシステムの開発などに取り組んでいます。

これらの開発したモデルの適用は、多くの場合、各国の大学の先生や学生あるいは政府関係機関などとの共同研究という形で進めています。本年も、タイのチュラロンコン大学、コンケン大学、フィリピンのデ・ラサール大学、アメリカのウースター工業大学などの研究グループと共同で研究を進めています。卒研究生や大学院生が実際にこれらの

国へ行き、現地の学生と協力して調査なども行っています。

●卒業研究テーマ

- ・プローブカーシステムを活用したバンコク都市圏における交通状況の把握方法の開発
- ・ITS 技術を活用したカーシェアリングシステム管理方法の開発
- ・東南アジアにおけるオートバイの利用動向の分析
- ・シミュレーションモデルを使ったコンケン市の総合的な交通管理計画の立案
- ・サンホセ都市圏におけるバス運行改善策の評価のためのシミュレーションモデルの開発
- ・アメリカの道路整備事業におけるミチゲーションバンキングシステム活用事例の評価
- ・交通分野における CDM 導入の可能性の検討
- ・那覇市におけるトランジットモール導入社会実験の評価

●ゼミナール・テーマ

- ① ODA の中での交通計画の事例について福田助教授が講義する。
- ② 世界中から都市を 1 つ選択し交通システムの発達の歴史と現在の交通問題を調査し、発表する。
- ③ 数理計画的手法やモデルの開発に必要な基礎的情報処理能力の習得のための演習を行う。

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通問題の解決に係る職業につくことを希望している者。受講科目に条件を設けないが、数理統計学、オペレーションズリサーチ、交通計画、工業数学、システム工学を受講することを推奨する。

交通環境 研究室

藤井敬宏 助教授



研究室では、道路・都市・沿岸域の各種空間を対象とした社会基盤整備の評価や交通環境の改善に向けた対策方法の研究を進めています。環境の視点では、社会基盤整備を行う際の環境の保全や創造を図る方法論や計画論を検討しています。また、交通の視点では、地域の交通改善計画や交通バリアフリー化に向けた対策・評価方法の検討を行っています。

平成 14 年度のゼミナールは、修士課程 2 年が 4 名、卒研究生 25 名、3 年ゼミ生 14 名、研究生 3 名の総勢 46 名が在籍し、毎週行っているゼミナールに加えて、研究室内の卒業研究発表会を年 3 回、卒業研究の各種調査、京都へのゼミ旅行、バリアフリー点検ワークショップなどへの参加など、ゼミ活動を行いました。

●卒業研究テーマ

- ① 緑化計画の定量的評価に関する研究
- ② 環境に配慮したベイエリア地区の社会基盤整備方法に関する研究
- ③ 交通実態調査に基づく既成市街地の交通改善計画に関する研究
- ④ 歩行空間整備における交通バリアフリー評価に関する研究

⑤環境施設帯の整備評価方法に関する研究

⑥交通基盤整備における環境影響評価方法の取り組みに関する研究

●ゼミナール・テーマ

①グループディスカッション

- ・ビデオ・ニュースを題材とした環境・都市交通問題についての討論（平成 14 年度：巨大都市・未来都市の選択、未来を築く交通システム、世界の港湾都市など）
- ・OB を交えた審査会の実施（テーマ：君はマンション派・戸建派、ごみ問題をどう考える＜住民・行政・企業の立場＞）

②環境問題の事例調査（問題・背景・対策状況などを調べ、パネルなどを作成し発表）

③現代用語検定の時事学習問題の実施（2 回程度）

●卒業研究、ゼミナール着手条件

- ① 交通現象解析Ⅱを受講すること
- ② 基本的な統計学を理解していること

構造工学第一 研究室

星埜正明 教授



人員構成については、担当教員は星埜です。大学院生は、M 2 が 3 名、M 1 が 1 名です。ゼミⅡ生は 2 名です。

研究対象は構造工学で、主として鋼構造であるが、鋼・コンクリート合成構造、コンクリート構造も扱っている。学部の科目でいえば、応用力学、鋼構造などが密接な関連を有している。

●卒業研究テーマ

- ・移動繰り返し荷重を受ける RC はりの疲労強度
- ・曲線箱桁橋の力学的特性
- ・合成構造橋梁の力学的特性

●ゼミナール・テーマ

ゼミⅠは、習志野祭を挟んで前半と後半に分かれる。前半では、習志野祭へ向けて展示構造物の製作を行う。最近では吊橋や斜張橋が多く、来訪した子供達に遊んでもらっている。後半は応用力学の勉強を行う。

ゼミⅡでは、構造力学(エネルギー法など)の勉強を行う。

●卒業研究、ゼミナール着手条件

特になし。



地盤工学 研究室

巻内勝彦 教授

峯岸邦夫 助手



昨年度は、大学院生 12 名（博士課程：社会人 1 名、修士課程：2 年生 4 名（留学生 1 名）、1 年生 7 名）、卒研究生（ゼミⅡ）12 名、3 年生（ゼミⅠ）10 名でした。

修士論文・卒業研究のテーマは、交通施設に関連する地盤構造物や交通荷重を受ける地盤を対象として扱ったものを中心に行い、特に近年注目を浴びているジオンセティックスを用いた補強土工法に関するもの、現場発生土の有効利用を念頭に置いた軽量化地盤材料に関する研究などを行いました。また、新規のテーマとして、交通荷重を受けるブロック舗装の下に敷設された強化ワリフの耐久性評価に関する研究と、発泡廃ガラスと関東ロームの混合地盤材料の力学特性に関する研究が加わりました。研究成果は今年度の地盤工学研究発表会、土木学会全国大会・関東支部技術研究発表会、ジオンセティックスシンポジウムなどにおいて発表予定です。

今年度は、昨年度より卒研究生の数が若干少なくなりましたが、昨年にも増して活発な学生が集まり、元気よくゼミ活動および卒業研究がスタートしました。なお、平成 15 年度の研究テーマ案は以下の通りです。

●修士論文・卒業研究テーマ

- ・飽和粘土の繰返し圧密特性

- ・繰返し応力下の火山灰質粘性土の力学特性
- ・土の熱伝導特性
- ・交通荷重を受ける軽量化地盤材料の力学特性
- ・超軽量地盤材料硬質ウレタンの力学特性
- ・軽量地盤材発泡廃ガラス混合地盤材料の力学特性
- ・ジオステーブル混合土の力学特性
- ・舗装用ジオンセティックスの性能評価
- ・ジオセルの補強効果
- ・ジオドレーン材の水利特性と補強効果
- ・ソイルセメントパイルに関する研究

●ゼミナール・テーマ

- ① 交通施設の地盤工学（トランスポーターション・ジオテクノロジーとは？）
- ② 地盤構造物への新素材・新工法
- ③ 今後の地盤環境技術
- ④ 性能設計法入門（これからの国際標準設計法）
- ⑤ 魅力あるアース・デザイン
- ⑥ フィールド・トリップ（地盤の観察、現場見学など）

●卒業研究、ゼミナール着手条件

特に設けていない。

応用力学 研究室

宮森建樹 教授



●研究室の構成（平成 15 年度）

- ・教員：宮森建樹
- ・大学院博士課程前期学生：2 名
- ・卒業研究生：11 名
- ・研究生：2 名

●研究室紹介

当研究室の研究内容は、主として土の力学的な性質の解明とその応用である。したがって、研究は実験と解析が主体となる。

平成 14 年度は、助手として榎本尚之君に教育・研究に多大なご尽力をいただいた。ここに、過去の当研究室の助・副手の方々の動向を記して、研究室紹介の一端とする。氏名、学生（卒研、修論）時の所属研究室、勤務年時および現職の順に示す。

浜谷恒平：交通制御研究室 1987 建設省
佐々木隆一：交通計画第二研究室 1988 東京都
廣田紳一：応用力学研究室 1989～1990 横浜市
山之上諭：交通制御研究室 1991～1992 警視庁
横打克雄：応用力学研究室 1993～1994 八王子市
榎本尚之：地盤工学研究室 2002 新潟県

●研究テーマ

- ・砂質土のセメント安定処理に関する基礎的研究
- ・土の締固め機構に関する研究
- ・締固められた土の力学性状について
- ・円孔の拡大に伴う砂地盤内の応力と変形特性について

●ゼミナールⅠの内容

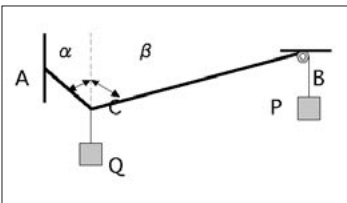
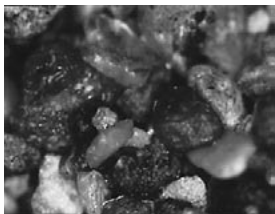
各種資格試験（技術士補、FE など）および公務員試験問題の収集と解答の作成。

●卒業研究、ゼミナールの着手条件

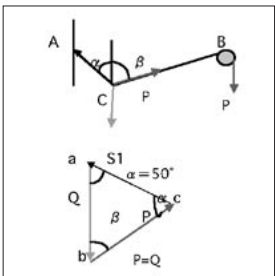
特になし。



砂の構造異質性と強度に及ぼす影響について



力学支援におけるコンピュータ支援の方法



構造工学第二 研究室

柳沼善明 教授

齊藤準平 助手



研究室（平成 14 年度）には、卒研生 5 名、3 年ゼミ生 8 名の総勢 13 名が在籍しました。

ゼミの活動として、8 月にゼミ合宿、12 月に「君は卵を守るか？」コンテストが行われました。ゼミ合宿では圏央道の PC 橋建設現場（八王子市）を見学し、PC 橋建設に関する概要説明後、PC 桁の鉄筋組立作業を見学しました。その後、石和温泉でお湯につかり、大いに懇親を深めました。「君は卵を守るか？」コンテストでは、各自が卵を割らないように工夫をこらしたガードを作製し、3 階から落下させ、卵が無事かどうかを競い合いました。卵が割れなかったゼミ生には、賞状と記念品が授与されました。

夏休み中、柳沼教授が 9 月 1 日～18 日までイギリスに出張し、国際会議で超軽量コンクリートはりの挙動の発表ならびに構造物のメンテナンスに関する調査をしてきました。齊藤助手が 8 月 28 日～9 月 1 日までフィリピンに出張し、司会と論文発表をしてきました。

●卒業研究テーマ

- ・再生骨材コンクリートの有効利用に関する研究
- ・エココンクリートの特性に関する研究
- ・超軽量骨材コンクリート構造の挙動に関する研究

- ・損傷・劣化した RC 構造の挙動に関する研究
- ・外ケーブル方式 PC 構造の挙動に関する研究

●ゼミナール・テーマ

- ・ゼミⅡでは、プレストレストコンクリートの教科書を輪読して知識を修得する。
- ・ゼミⅠでは、コンクリートに関する随筆を読み、コンクリート全般についての知識を豊かにする。

●卒業研究、ゼミナール着手条件

特になし。



平成 14 年度の PC 橋施工現場見学集合写真

道路交通 研究室

安井一彦 専任講師



道路交通研究室は、平成 7 年にできた歴史の浅い研究室ですが、安井一彦専任講師の下、大学院生 5 名、学部 4 年生 21 名の総勢 26 名のほか、7 月には 3 年生も配属されるため、毎年 40 名ほどの大所帯の研究室です。

ゼミは各学年ごとに週 1 回ほどあります。3 年生は交通工学に関する簡単なプログラミング練習、4 年生は交通工学に関する勉強会と卒業研究のミーティングを行っています。大学院生は、修士論文を進める一方、各学会での活動や民間・官公庁からのさまざまな共同研究などを行っています。

道路交通研究室では、道路上に起こりうるあらゆる現象について研究を行ってきました。しかし、まだ解明されない現象がたくさんあります。これからも幅広い視野をもって、道路交通の効率・安全に向けて、研究に励んでいきます。研究室の詳細については、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/ROADTRA/koshiken96.html>

●卒業研究テーマ

- ・渋滞交差点の診断と対策案の評価に関する研究
- ・路上駐車と交通容量の関係に関する研究
- ・踏み切り信号機の高度化に関する研究

- ・速度抑制のための信号制御手法の評価に関する研究
- ・押しボタン式信号の高度化に関する研究
- ・高速道路における工事区間長と交通容量の関係に関する研究
- ・車両感知器の感知特性に関する研究
- ・歩車分離信号に関する研究

●ゼミナール・テーマ

- ・交通工学関連知識のマスター
- ・プレゼンテーションツールの学習

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通工学に情熱を持つ学生。卒業までに、交通流理論、交通制御、道路交通工学を取得していること。



TOPICS

新任助手・副手紹介

岸上明子助手

初めまして。東京外国語大学卒業、フィリピン大学大学院修了（修士・博士号－都市・地域計画）という土木社会では珍しい経歴ですが、私のようにソフト面から都市計画へアプローチする必要性はますます高まると思います。柔軟かつ貪欲に研究に励み、アジア人としてアジアの都市の持続可能な発展に貢献したいと思っています。

川西崇行副手

「都市」というまったくもって捉えどころのない相手と睨みあってしまったばかりに、哲学系（美術史・建築史・公共芸術論）→都市計画系（都市史・都市デザイン・歴史的環境論）と漂泊し、この度こちら一土木系にお世話になることになりました。一人学際(?) 的状況でなかなか研究が収斂しませんし、至らざる点も多いかと存じますが、よろしくお願い申し上げます。

野水雅之副手

大学卒業後そのまま社会交通工学科に就職し、現在教員 1 年生。大学での仕事は主にプログラミング、舗装材料実験、製図（後期）などの授業補助や学科の雑務、研究室でのイベント参加補助など、教員と学生の間に立った活動を中心に行っています。「立場は教員でも学生に近い存在でありたい」。この気持ちで頑張っています。

受賞報告

1 月にハワイで開催された 36th Annual Hawaii International Conference in System Sciences で発表した論文「Testing Design of a Social Innovation — The Environmental Mitigation Banking

System」で、福田 敦助教授が Best Paper Award (in Decision Technology in Management Track) を受賞しました。

この論文は、第 8 期総長指定研究「環境と資源の安全保障」の中の研究の一つとして、米国ウースター工業大学の Khalid Saeed 教授と共同で開発したミチゲーションバンキングの SD モデルに関して報告をしたものです。なお、受賞は約 700 件の発表から 9 件で、本論文はその中の 1 件となりました。

2002 年 11 月、安井一彦専任講師、越 正毅東京大学名誉教授、宮田 晋氏（警視庁交通部）、浅野栄吉氏（元木組）の共同研究が、第 22 回交通工学研究発表会研究奨励賞を受賞しました。

研究内容は、信号交差点上流がカーブの場合に設置される予告信号灯の表示方式に関するものです。表示方式には明確な規定がないため多種の方式が混在していることから、実際に同一交差点において主要 4 方式の運用を行い、車両挙動調査を通じて、安全で円滑な交通を実現できるのはどの表示方式かについて分析を行いました。

5 月 30 日、土木学会第 89 回総会にて本学科卒業生の土屋紋一郎氏（18 期卒・清水建設(株)）が、永年海外土木工事に従事し多くのプロジェクトを手がけた功績により、土木学会・国際活動奨励賞を受賞しました。

清水建設入社以来、一貫して海外工事に携わってこられた土屋氏は、マレーシア・シンガポール第二連絡橋工事やパক্ষে橋建設などを通して現地の若手技術者育成にも実績を残されています。現在はフィリピン国バタンガス港開発二期工事のプロジェクトマネージャーとして活躍中であり、さらなる国際貢献活動が期待されての受賞となりました。

修士論文

内陸での水循環の阻害と対策に関する研究 指導：岩井茂雄 助教授	加茂 伸	小型車専用立体交差導入に関する研究 指導：福田 敦 助教授	小田崇徳
ADR 土壌水分計の適用性とその応用に関する研究 指導：下辺 悟 助教授	関根 喬	コミュニティバス計画支援システムに関する研究—四街道市を対象として— 指導：福田 敦 助教授	金山拓郎
東京郊外鉄道駅周辺の月極駐車場の有効利用に関する研究 指導：高田邦道 教授	関根 礼	移動荷重を受ける模型 RC ばりのせん断疲労特性 指導：星埜正明 教授	漆畑貴浩
各種車両感知器の感知特性に関する研究 指導：高田邦道 教授	田島隆之	ジオシンセティックスセル補強土のマットレス効果に関する研究 指導：巻内勝彦 教授	金 順浩
移動制約者に配慮した歩道整備優先順位の設定に関する研究 指導：高田邦道 教授	長野博一	日本におけるビジネス機利用の可能性に関する研究 指導：巻内勝彦 教授	佐々木啓人
道路空間の複合利用に関する研究 指導：高田邦道 教授	西原相五	盛土水平敷設ジオドレーンの水理特性に関する実験的研究 指導：巻内勝彦 教授	塩野真康
ロードプライシングにおけるコードンライン選定に関する研究 指導：高田邦道 教授	林 泰士	枝付きジオステーブル混合補強土の力学的特性に関する研究 指導：巻内勝彦 教授	星野郁夫
地区交通計画における TMO の活用方策に関する研究 指導：高田邦道 教授	古澤 亮	分散剤を添加したソイルセメントパイル工法安定処理土の強度変形特性に関する研究 指導：巻内勝彦 教授	水上 学
土地区画整理事業における緑地空間確保に関する研究 指導：高田邦道 教授	森本浩平	室内試験によるセメント安定処理土の基礎的研究 指導：宮森建樹 教授	菊池大輔
米国のミチゲーション施策に関する研究—ミネソタ州の道路整備事業におけるミチゲーションバンキングシステムを対象として— 指導：福田 敦 助教授	伊東英幸		

卒業研究

【 】は共同論文指導

■ 交通景観研究室 (天野光一 教授)

日大船橋キャンパスが近隣住民の交通行動に与える影響	大森太一
業種に注目した駅の表裏に関する基礎的研究	太田 努
映画の中に見られる橋梁景観に関する基礎的研究	森 朝子
植栽が屋外広告物に与える影響	荒川良一
河川空間の利用実態に関する基礎的研究—荒川・阿武隈川を一例として—	小澤敦也
酒田における輸送形態の変化と都市の変遷に関する基礎的研究	佐久間美紀

■ デザイン研究室 (伊澤 岬 教授)

秋葉原未来型都市構想—電気街から IT 都市へ—	萩原麻衣子
市ヶ谷マルチモーダルステーション構想	中嶋 崇
御茶ノ水連合大学キャンパス構想	中村 司
回遊都市構想—築地都市再生プロジェクト—	高田千種
坪井地区における環境を考慮した持続可能型まちづくりの提案	小林清隆

■ 都市環境計画研究室 (伊東 孝 教授)

東京湾要塞・観音崎地区における砲台施設の分析—フランス積み構造物に注目して—	小林達也
開港都市における外国人居留地の図面分析—神戸と横浜を事例として—	加茂博司
ワークショップによる港町ネットワークづくり—輦の浦のライトアップ、多島海景観、全国町並みゼミ—	高橋寛之
万年橋（東京都青梅市）の基礎的研究—初代万年橋の史料分析—	岡本圭司
荒川下流域にかかる橋梁群の歴史的変遷	小川大輔
現存近代道路橋の研究—土木学会歴史的鋼橋データの分析—	柴田耕平

■ 環境工学研究室 (岩井茂雄 助教授)

透水性コンクリート舗装に関する研究—車道への適用の可能性について—	影島輝英、神野貴文
電界下の粘土層内のカルシウムイオンの移動特性	我孫子弘行
炭ペレットの作製と酸の吸着効果に関する基礎研究	藤田正一

水田から流出する肥料の除去実験	鈴木正典
タイヤ／路面騒音に影響を及ぼす路面プロファイルについての研究	富澤康人

■ 基礎力学研究室 (下辺 悟 助教授)

ADR 法による土の含水量測定とその応用	宮澤弘光、宇野岳人
フォールコーン試験による土の状態量とせん断強さの推定	今井裕敏、高橋正敏
珪藻土の有効活用—素材特性とその利用—	鈴木良和、池上雄一

■ 交通計画第二研究室 (高田邦道 教授)

駐車問題に着目した地方都市中心市街地活性化対策	長谷川勇為【對木 揚】
京王線沿線における鉄道駅周辺月極駐車場の有効利用に関する研究	村井亮佑、山岡 豊
小岩駅周辺の路上駐車実態に関する研究	加持 大
駐車場の料金体系が路上駐車に与える影響に関する調査研究	石橋太一
路上駐車対策の効果に関する比較研究—「スムーズ東京 21」を例として—	大手一幸、西 裕史
練馬区におけるポケット・ローディング・システムの社会実験に関する研究	伊藤康成、山岸大輔
石神井公園駅地区における社会実験を通しての道路空間有効利用に関する考察	佐藤健太郎
バリアフリーを受け入れるための道路空間利用に関する研究	小樽栄太
印西市におけるコミュニティバスの存続問題	加藤範子、児玉聖和
鎌ヶ谷市における交通安全対策とその効果に対する研究	田中弓子

インテリジェント・アイドリング・ストップ・システムに関する研究	高倉裕司
---------------------------------	------

東京都ロードプライシングにおける通過交通と迂回道路に関する調査研究	加藤章彦、山田敬志
-----------------------------------	-----------

TDM 施策におけるプレートナンバー規制の研究	五十嵐亘
-------------------------	------

成田新高速鉄道開業による鉄道アクセス可能圏の変化に関する研究	新田賀勇、松本一海
--------------------------------	-----------

自転車道整備に関する基礎的研究	野田夏樹
-----------------	------

信号交差点における自転車の横断実態	斎藤祐紀【木戸伴雄】
-------------------	------------

運輸業界における企業内研修の実態—新入社員研修を例に—	深水大文【古賀義弘】
-----------------------------	------------

■ 情報工学研究室 (中山晴幸 専任講師)

長時間運転とドライバーの疲労との関係について	佐藤大輔、清水貴志
------------------------	-----------

短・長距離ドライバーの疲労に関する調査	栗原 崇
ドライバーの音声から疲労度を推定する試み	丸山真一郎、渡邊哲也

地下鉄駅構内の歩き易さに関する研究	山谷周司、田中善隆
-------------------	-----------

地下鉄案内システムの構築	大野博史、十鳥敏充
--------------	-----------

歩行者シミュレーションシステムの開発	石川慎一郎
--------------------	-------

GIS による端末交通選択システムの研究	中島正英、藤田裕司
----------------------	-----------

環境変化情報を GIS で提示するシステムについて	須藤悠介、渡邊正憲
---------------------------	-----------

首都機能移転と空港との関係について—岐阜・愛知地域をケーススタディとして—	杉村論志、松森 隆
---------------------------------------	-----------

日本におけるビジネスジェット機の現状について	有光 玲、石黒将嗣
------------------------	-----------

■ 交通システム研究室 (福田 敦 助教授)

首都圏の鉄道における需要の価格弾力性に関する研究	香田淳一【金子雄一郎】
--------------------------	-------------

鉄道整備による CO ₂ 排出枠獲得に関する基礎的研究	河合俊幸
--	------

ビオトープネットワーク形成に関する研究—三郷 JCT 周辺地域を対象として—	細矢哲久
--	------

タイにおける二輪車保有実態のマクロ分析	端野良彦
---------------------	------

タイにおける二輪車保有実態のミクロ分析	岡田祐香
---------------------	------

ばねの原理を用いた交通シミュレーションの基礎的研究	石井出雄介
---------------------------	-------

普通自動車専用立体交差導入に関する研究—単独立差点を対象として—	室井寿明
----------------------------------	------

ミクロ交通シミュレーションによるバス優先施策の効果の検討	笹川昌彦
------------------------------	------

トランジットモール導入が車による来街者の利用経路選択へ与える影響の分析—那覇市国際通りトランジットマイル社会実験を事例として—	岩田陽一、来栖直樹
---	-----------

路上駐車発生要因の基礎的な研究	小幡健一
-----------------	------

電動アシスト自転車共同利用における自転車の管理に関する研究	佐藤貴洋
-------------------------------	------

■ 交通環境研究室 (藤井敬宏 助教授)

鎌ヶ谷市の通学路における交通事故分析に関する研究	石坂晃一、梅村卓也
--------------------------	-----------

鎌ヶ谷市における道路整備優先順位に関する研究	鈴木友之、豊森雅史
------------------------	-----------

車両番号照合法調査の実施方法に関する研究	西村聡太、増田裕介
----------------------	-----------

駅周辺地域における歩道整備優先順位の設定に関する研究	荒幡亮太、高木秀尚
----------------------------	-----------

歩道整備における評価項目のウエイト設定に関する研究	菅野知佳、内藤和代
---------------------------	-----------

コードンライン通過交通からみたロードプライシングの効率性に関する研究	白井聡光、宮本敏裕
------------------------------------	-----------

物流施設の立地状況とロードプライシングの関係性に関する研究	加藤 晃、上野恭之
-------------------------------	-----------

大和町交差点における NOx 濃度変化に関する研究	高橋洋和、瀧口 剛
---------------------------	-----------

TMO 活動の実態比較分析	狩野修輔
---------------	------

わが国のミチゲーション関連事業の整備状況に関する研究	佐々木美和、佐藤正俊
----------------------------	------------

都市における緑化方法に関する研究 伊藤 忍、阿部貴志
ビオトープネットワーク計画に関する研究 圓田智志、木下明生
類似性を考慮した沿岸域における生物環境値の推計に関する研究 廣木信久、松田泰将

■ 構造工学第一研究室（星埜正明 教授）……………

合成 2 主桁橋のねじり振動解析 小野智子、古閑教詩
低走行荷重下における模型 RC はりのせん断疲労強度 熊谷隆吾、千葉慎也

■ 地盤工学研究室（巻内勝彦 教授）……………

飽和粘土の圧密現象における静的および繰返し圧密圧力の影響 高山周治
繰返し応力履歴を受けた火山灰質粘性土の力学特性 皆川靖博
土の熱伝導特性に及ぼす試料状態量の影響 吉田邦彦
発泡ビーズ混入軽量化地盤材料の強度変形特性に及ぼす載荷条件の影響 阿部直樹
超軽量地盤材ジオフォームの降伏強度特性 植原 亘
枝付きジオファイバー混合補強土の力学特性 浅沼圭介
土中ジオテキスタイル水平ドレーン材の水理特性 正来潤三
ジオシンセティックスセルのマットレス補強効果 川嶋祥貴
界面活性剤を添加したソイルセメントコラムの性能評価 大澤則雄
ソイルセメントスラリーにおける界面活性剤の効果 池田康洋
ブロック舗装クッション層下のジオシンセティックスの耐久性評価 中村昌彦
発泡廃ガラス混合軽量化粘性土の力学特性 内田晴弓

■ 応用力学研究室（宮森建樹 教授）……………

砂質土のセメントミルクによる安定処理について 桜林 卓、杉浦弘紀、鈴木亮平、中桐康統

繰返し荷重を受ける締固められた関東ロームの力学特性 上出清司、長谷川裕史
砂の構造異方性が支持力に及ぼす影響について 木村隆司、野澤輝郎
奥行きの狭い背後土の擁壁に作用する主働土圧 佐々木政博、渡邊義和

力学教育におけるコンピュータ支援の補助教材の開発 石山祐輔、市川裕一

■ 構造工学第二研究室（柳沼善明 教授）……………

マイクロコンクリートの強度特性 原 誠一
再生骨材コンクリートの圧縮強度と引張強度 加藤 淳
塩害により腐食した RC はりの非破壊検査による健全度診断 河野直生、武藤将章
PC 桁の突起定着体の挙動 大西正樹

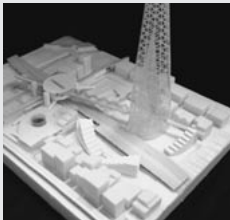
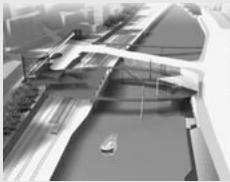
■ 道路交通研究室（安井一彦 専任講師）……………

歩車分離信号に関する研究 坏 史宏、斉藤 豊
各種車両感知器の感知特性に関する研究 工藤裕美子、松井俊文
高速道路における工事区間長と交通容量の関係 大谷 修、佐藤亨貴【森田綽之】
踏切信号機導入による効果と安全性に関する研究 佐藤正章、筒井真祐子
押しボタン式信号の系統化に関する研究 渡辺修一、渡辺隆宣
信号機設置に伴う速度抑制効果に関する研究 浅米孝政、藤井敦士
信号交差点における渋滞の緩和策とその効果評価—根本交差点— 安藤栄志、津秋洋一
信号交差点における渋滞の緩和策とその効果評価—墨入口交差点— 野水雅之、横山友昭
スキッドマークによる交差点危険度評価に関する研究 大野将司、谷口倫久

学生の活躍

千葉県建築四会学生賞奨励賞受賞

千葉県建築四会学生賞展示会は県内の 4 年制大学で建築や都市について学び、学窓を巣立つ諸君の勉学研究を励ますことを目的として毎年 3 月に開催され、今年で 15 回目となります。
本学科からは、「市ヶ谷マルチモーダルステーション構想」（写真上）と題し、多元的な交通空間と水辺のアメニティー空間の創出を JR 線と 3 つの地下鉄により構成されている市ヶ谷駅をモデルに提案した中嶋 崇さんと、「秋葉原未来型都市構想」（写真下）と題し、電気街「秋葉原」の都市再生を魅力ある歩行者空間の創出という視点から提案した萩原麻衣子さんの 2 名がともに奨励賞を受賞しました。



土木学会関東支部優秀発表賞受賞

平成 15 年 3 月 10、11 日の 2 日間にわたり新潟大学工学部で開催されました第 30 回土木学会関東支部技術研究発表会において、「盛土敷設ジオドレーンシートの通水・透水性能特性」について研究発表を行った本学 OB の塩野真康君（平成 15 年 3 月大学院修了）が第 3 部門（地盤・岩盤など）の優秀発表賞を受賞しました。この賞は 35 歳以下の若手技術者、研究者を対象とし、研究内容と発表手法に優れた研究に対して授与されるもので、表彰式は 5 月 23 日東京四谷にあります弘済会館で行われ、賞状と記念品（受賞者の名前が刻まれた腕時計）が授与されました。



平成14年度 教員の研究・活動

教員の資格と研究室名は平成 15 年 4 月 1 日現在のものです。

研究業績

掲載誌・出版元	題目・作品名・書名	教員名等	発表年月
---------	-----------	------	------

デザイン研究室（伊澤 岬 教授・江守 央 助手）

■ 口頭発表

第 26 回土木計画学研究発表会（秋大会）（講演番号 223）	京都の社寺・庭園境内の敷地利用について—地形的分析による空間評価—	江守 央 伊澤 岬 他	02 年 11 月
第 26 回土木計画学研究発表会（秋大会）（講演番号 224）	世界遺産の敷地利用について—地形的分析による空間評価—	田島敬悟 伊澤 岬 江守 央 大沼郁俊	02 年 11 月
第 26 回土木計画学研究発表会（秋大会）（講演番号 345）	丘陵地に立地するキャンパスの空間利用について—地形的分析による史的考察—	伊澤 岬 江守 央 他	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市・交通計画部会）pp. 426-427	京都の社寺・庭園境内と世界遺産の地形的特徴について—地形形状の類型化—	江守 央 伊澤 岬 田島敬悟	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市・交通計画部会）pp. 428-429	キャンパスの地形的特徴について—地形形状の類型化—	伊澤 岬 江守 央 萩原麻衣子	02 年 11 月

■ その他

日刊建設工業新聞	第 1 回日本大学理工学部社会交通工学科卒業設計展＋デザイン研究室作品展開催について	伊澤 岬 江守 央	03 年 4 月
----------	--	-----------	----------

都市環境計画研究室（伊東 孝 教授・川西崇行 副手）

■ 著書

新エネルギー・産業技術総合開発機構 平成 14 年度調査報告書 02004479-0-2	産業技術歴史継承調査 我が国の土木技術の独創性と創造性に関する調査編	伊東 孝（委員長） 堀川洋子 他 11 名	03 年 3 月
INAX 出版「水辺の土木」pp. 4-12	私の好きな水辺の土木＜座談会＞	伊東 孝 他 2 名	03 年 3 月

■ 査読論文

「産業考古学」104 号 pp. 2-10	“遺跡”からみた発電所の土木遺産評価に関する一考察（その 1）—沼上発電所の「瀑布式」発電を事例として—	堀川洋子 伊東 孝 他学外 2 名	02 年 6 月
「産業考古学」106 号 pp. 8-17	“遺跡”からみた発電所の土木遺産評価に関する一考察（その 2）—「黎明期」発電用ダム・大野ダムの土砂管理システムを事例として—	堀川洋子 伊東 孝 他学外 2 名	02 年 12 月

■ 口頭発表

Proceedings of the 5th International Conference on Civil Engineering (in printing)	Covered Bridges with Small Temples in Bhutan	Takashi ITOH	02 年 8 月
Proceedings of the 5th International Conference on Civil Engineering (in printing)	The Study of an Evaluation Model on Modern Civil Engineering Infrastructures	Youko HORIKAWA & Takashi ITOH	02 年 8 月
第 22 回土木研究発表会スペシャルセッション「橋の見方・楽しみ方」pp. 19-25	可動橋一覧と近代橋梁の利活用	伊東 孝	02 年 6 月
関東都市学会春季大会シンポジウム	都市史の連続・不連続—法制度・生活・文学—	川西崇行 他 2 名	02 年 5 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市・交通計画部会）pp. 388-389	初代万年橋（東京都青梅市）の図面分析	岡本圭司 伊東 孝	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市・交通計画部会）pp. 390-391	荒川下流域にかかる橋梁群の歴史的変遷	小川大輔 伊東 孝	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市・交通計画部会）pp. 404-405	東京湾要塞・観音崎地区における要塞施設の図面分析	小林達也 伊東 孝	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市・交通計画部会）pp. 380-381	開港都市神戸における外国人居留地の変遷—J. W. ハート作成の 1870 年と 1872 年の図面分析—	加茂博司 伊東 孝	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市・交通計画部会）pp. 392-393	現存近代橋梁の分析—道路アーチ橋を中心として—	柴田耕平 伊東 孝	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市・交通計画部会）pp. 386-387	海上交通による港町ネットワーク—瀬戸内の港町を巡って—	高橋寛之 伊東 孝	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市・交通計画部会）pp. 382-383	軀の浦のライトアップ—歴史的港湾遺産を活用したワークショップ—	鶴岡智史 高木優一 帯谷洋介 伊東 孝 島田真一	02 年 11 月

第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市・交通計画部会）pp. 384-385				海から見た多島海景観分析―瀬港～松山港を事例にして―	西塚泰道 伊東 孝	岡田隆介	02 年 11 月
土木学会関東支部 関東支部技術研究発表会				美観地区に関する基礎的研究―東京と大阪の比較―	高木優一	伊東 孝	03 年 3 月
土木学会関東支部 関東支部技術研究発表会				遺産を生かした港町ネットワークの提案―瀬戸内を事例として―	高橋寛之	伊東 孝	03 年 3 月
土木学会関東支部 関東支部技術研究発表会				海上からみた多島海景観分析―瀬戸内を事例として―	西塚泰道 畠田真一	高橋寛之 伊東 孝	03 年 3 月
土木学会関東支部 関東支部技術研究発表会				ライトアップによる歴史的港湾遺産の演出方法―広島県鞆の浦を事例として―	鶴岡智史 伊東 孝	高橋寛之 畠田真一	03 年 3 月
土木学会関東支部 関東支部技術研究発表会				明治・大正期における別荘地開発―鎌倉・大磯・藤沢の比較研究―	岡田隆介	伊東 孝	03 年 3 月
土木学会関東支部 関東支部技術研究発表会				荒川下流域にかかる橋梁群の歴史的変遷	小川大輔	伊東 孝	03 年 3 月
土木学会関東支部 関東支部技術研究発表会				万年橋（東京都青梅市）の基礎的研究	岡本圭司	伊東 孝	03 年 3 月
土木学会関東支部 関東支部技術研究発表会				現存近代橋梁の分析―道路アーチ橋を中心として―	柴田耕平	伊東 孝	03 年 3 月
土木学会関東支部 関東支部技術研究発表会				東京湾要塞・観音崎地区における要塞施設分析	小林達也	伊東 孝	03 年 3 月
土木学会関東支部 関東支部技術研究発表会				発電施設を対象とした「近代土木遺跡」に関する一考察	青木俊介 堀川洋子	伊東 孝	03 年 3 月
土木学会関東支部 関東支部技術研究発表会				開港都市神戸における外国人居留地の図面分析	加茂博司	伊東 孝	03 年 3 月
土木学会関東支部 関東支部技術研究発表会				軍都の形成―『柏市史近代編』から見た軍都の成り立ち	横関俊也	伊東 孝	03 年 3 月
土木学会関東支部 関東支部技術研究発表会				昭和戦前期の東京のインフラ整備に関する研究―「東京都市計画報告」にみるインフラ整備―	帯谷洋介 伊東 孝	鶴岡智史	03 年 3 月
■ その他							
フロント				土木遺産再発見	伊東 孝		03 年 3 月 まで連載
建設業界				ダム風土記	伊東 孝		毎月連載
家とまちなみ				住宅地について考える―披露山庭園住宅地での体験から	伊東 孝		02 年 9 月
毎日新聞				企画特集「東京の土木遺産」＜座談会＞	伊東 孝	他 4 名	02 年 11 月
毎日新聞				東京の土木遺産＜監修＞	伊東 孝		02 年 10 ・ 11 月
住宅総合研究財団 2002 年度研究報告書				歴史的集合住宅の継承と再生の手法に関する研究	川西崇行	他 7 名	02 年 10 月
環境工学研究室（岩井茂雄 助教授）							
■ 査読論文							
舗装 Vol. 37, No. 4, pp. 11-16				フェンダー内でのタイヤ／路面騒音特性	岩井茂雄 堀 伸司	三浦裕二	02 年 4 月
■ 口頭発表							
Proceedings of the 5th International Conference on Civil Engineering (in printing)				Basic Study on Heat Balance at Pavement Surface	Shin KAMO & Shigeo IWAI		02 年 8 月
Proceedings of the 5th International Conference on Civil Engineering (in printing)				Design and Structural Analysis by Surface Deflection of ILB Pavement	Yukio TODOROKI & Shigeo IWAI		02 年 8 月
Proceedings of the 5th International Conference on Civil Engineering (in printing)				A Study on Environmental Protection of Lakes ― Taking the Case of Water Environment of Lake Inbanuma ―	Yoshiaki MORITA, Yuji MIURA, Shigeo IWAI & Hitomi MATSUSHIMA		02 年 8 月
土木学会第 57 回年次学術講演会講演概要集（第 7 部）pp. 455-456				土壌に散布した化学肥料成分の流出除去に関する基礎研究	加茂 伸	岩井茂雄	02 年 9 月
土木学会第 57 回年次学術講演会講演概要集（第 5 部）pp. 131-132				タイヤ／路面騒音特性に関する研究―タイヤの影響について―	藤井健生	岩井茂雄	02 年 9 月
第 14 回日本大学工学部学術研究報告会講演要旨集（土木部会）pp. 149-152				導電現象を利用した安定処理土の中性化防止に関する基礎研究	岩井茂雄	森田吉晃	02 年 11 月
■ その他							
舗装 Vol. 38, No. 2, pp. 20-22				等価騒音レベル（Leq）について（No.27 品質管理）＜解説＞	岩井茂雄		03 年 2 月
基礎力学研究室（下辺 悟 助教授）							
■ 口頭発表							
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（土木系部会）pp. 534-535				ADR 土壌水分計の適用性について	下辺 悟 宮森建樹	関根 喬	02 年 11 月

交通計画第二研究室（高田邦道 教授・小早川悟 助手）

■ 著書

丸善（社）交通工学研究会編 都市交通―第Ⅱ編 都市物流計画 pp. 97-103	輸配送システムの計画	苦瀬博仁（主査） 高田邦道	02 年 3 月
（財）道路経済研究所（道経研シリーズ A-93）81 ページ	都市内における物流マネジメントに関する研究	高田邦道（編著） 藤井敬宏 小早川悟 他	02 年 3 月

（財）道路経済研究所（道経研シリーズ A-94）（財）道路経済研究所第 1 回研究報告会 pp. 32-45	道路・交通管理施設としての物流マネジメントに関する研究	高田邦道	02 年 3 月
文芸社（財）国際交通安全学会 pp. 3-6	車社会はどう変わるか― ITS・環境・都市文化の観点からみた交通社会―くまきがき>	高田邦道	02 年 5 月

日本交通政策研究会（日交研シリーズ B-95）36 ページ	道路空間利用の構造改革	高田邦道	02 年 6 月
自由国民社「2003 現代用語の基礎知識」pp. 283-300	交通運輸問題用語の解説	高田邦道	03 年 1 月
技報堂出版	都市交通計画 第 2 版	新谷洋二（編著） 高田邦道 他 5 名	03 年 4 月

■ 査読論文

交通工学研究発表会論文報告集 Vol. 22, pp. 165-168	P & R 促進のための情報提供に関する調査研究	小早川悟 高田邦道	02 年 10 月
交通工学研究発表会論文報告集 Vol. 22, pp. 273-276	交通需要特化の激しいイベント交通対策についての検討	久利生大輔 高田邦道	02 年 10 月
交通工学研究発表会論文報告集 Vol. 22, pp. 281-284	構造的に区画された自転車用通行路における交通の実態	小柳純也 木戸伴雄 高田邦道	02 年 10 月
国土と政策 No. 22, pp. 36-39	交通の視点から農山漁村のあり方を探る	高田邦道	02 年 12 月
自動車技術 Vol. 57, No. 1, pp. 17-22	21 世紀前半の運輸・交通の展望	高田邦道	03 年 1 月
交通工学 Vol. 38, No. 1, pp. 66-76	都市公共交通手段としての役割を意図したタクシー交通の運用方策	塚田悟之 高田邦道	03 年 1 月

■ 口頭発表

Nihon University International Symposium on “Security of the Earth and Mankind in the 21th Century”	Global Environment Problems Forcusing on Securing Environment and Energy Safety	Kunimichi TAKADA	02 年 3 月
土木学会第 57 回年次学術講演会講演概要集Ⅳ -351	幹線鉄道駅周辺月極駐車場の有効利用に関する提案とその可能性	関根 礼 小早川悟	02 年 9 月
土木計画学研究発表会 CDROM-148	自転車歩行者道の形態の違いが自転車の走行挙動に及ぼす影響	田中俊輔 小柳純也 木戸伴雄 高田邦道	02 年 11 月

第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市・交通計画部会）pp. 414-415	自転車道ネットワーク構築に関する研究	和泉聡志 小早川悟 高田邦道	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市・交通計画部会）pp. 418-419	道路空間における複合利用に関する研究―東京都羽村市を事例として―	西原相五 高田邦道	02 年 11 月
（財）国際交通安全学会平成 14 年度研究調査内部報告会	自治体における市民参加型交通安全対策支援システムの研究	赤羽弘和 （千工大教授） 南部繁樹（19 期） 葛山順一（26 期） 高田邦道 他	03 年 3 月
（財）国際交通安全学会平成 14 年度研究調査内部報告会	参画型社会の交通管理と市民	久保田尚 （埼玉大助教授） 高田邦道 他	03 年 3 月

■ 研究報告書

日本大学理工学部理工学研究所 35 ページ	Intelligent Idling Stop System 導入効果試算のための交通調査＜受託研究報告書―交通システム電機㈱＞	高田邦道 （研究代表者） 小早川悟 若林尚道 長谷川直己	02 年 2 月
（財）日本規格協会 高齢者・障害者配慮生活用品標準化に関する調査研究成果報告書 pp. 47-61	第 4 章 電動アシスト自転車	高田邦道（主査） 編	02 年 3 月
日本大学理工学部理工学研究所 44 ページ	ITS を考慮した交通情報システムに関する研究（その 3）＜受託研究報告書―日本信号㈱＞	高田邦道 （研究代表者） 関根 礼 三宮 肇	02 年 3 月
（財）道路経済研究所 81 ページ	都市内における物流マネジメントに関する研究	高田邦道（編著）	02 年 3 月

(財)国際交通安全学会　110 ページ	地方自治体に向けた「交通事故を中期的に半減するための提言」 —モデル地区における事例研究（その2）—報告書	高田邦道 (研究代表者) 木戸伴雄　南部繁樹 貞方敦雄　他	02 年　5 月
(財)国際交通安全学会　217 ページ	市民参加型交通安全対策の実現に向けた社会実験報告書	高田邦道 (研究代表者) 木戸伴雄　南部繁樹 葛山順一　他	02 年　7 月
都市基盤整備公団千葉地域支社　103 ページ	つばい地区エコテクノロジー導入研究会報告書	高田邦道編著 福田　敦　他	02 年 10 月
羽村市　32 ページ	羽村市交通バリアフリー基本構想	高田邦道 (協議会会長)　編	02 年 11 月
練馬区／国土交通省関東地方整備局 38 ページ	練馬区社会実験「自転車と人と車が折り合う道づくり—パーク ロードトライアル 2003 —」報告書（概要版）	高田邦道 (協議会会長)　編 小早川悟　他	02 年 11 月
日本大学理工学部理工学研究所　54 ページ	印西市の公共施設等循環バス見直し調査 ＜受託研究報告書—印西市＞	高田邦道 (研究代表者) 藤井敬宏　小早川悟 江守　央　田中俊輔 加藤範子　児玉聖和	02 年 12 月
■ その他			
交通工学　第 21 回交通工学研究発表会報告 Vol. 37, No. 2	TDM・社会実験	高田邦道 菊地雅彦	02 年　3 月
練馬区　練馬区社会実験パークロードトライ アル 2002 シンポジウムの記録　pp. 12-22	これからの道づくりと社会実験 (パークロードトライアル 2002 シンポジウム基調講座)	高田邦道	02 年　3 月
練馬区　練馬区社会実験パークロードトライ アル 2002 シンポジウムの記録　pp. 23-39	パークロードトライアル 2002 シンポジウム	高田邦道　他5 名	02 年　3 月
理工サーキュラー　Vol. 32, No. 112, pp. 20-21	Only One としての交通の研究	高田邦道	02 年　4 月
(社)日本駐車場工学会／日本道路技術研究 会　平成 14 年度都市計画研修会テキスト pp. 115-153	交通需要マネジメント（TDM）施策としての駐車対策	高田邦道	02 年　7 月
夕刊フジ　No. 10104, p. 4	タクシーに構造改革—ワンコイン戦争舞台裏—＜コメント＞	高田邦道	02 年　7 月
扶桑社「徹底！ 日大研究」p. 85	路上駐車解消へ社会実験（研究トップランナー）	高田邦道	02 年 10 月
信濃毎日新聞	自転車走りにくい松本の中心市街地／車中心…遅れる環境整備 —自治体が本気で取り組む時期に—＜コメント＞	高田邦道	02 年 10 月
東京 MX テレビ（制作：テレビユニオン）	放置自転車を減らせ～新たな解決策を模索して～ (東京インフォカス　# 132)	高田邦道　中井亜希	02 年 10 月
夕刊フジ　No. 10190, p. 15	そこまでやる？ 自動車教習所—参入難しい業界だけにようや く競争に—、高技術講習こそ—＜コメント＞	高田邦道	02 年 10 月
高速道路と自動車　Vol. 45, No. 10, p. 125	(社)交通工学会編『私の考えるクルマ社会—未来を語る 18 のヒント』＜新刊紹介＞	高田邦道	02 年 10 月
西多摩新聞　1865 号 , p. 2	羽村市バリアフリー構想で最終協議開く	高田邦道	02 年 11 月
国土と政策　No. 22, p. 11	(都市・農山漁村研究会) 物流部会の運営方針	高田邦道	02 年 12 月
交通 Bulletin　No. 2	土木学会認定技術者資格の概要	高田邦道	03 年　2 月
交通工学「第 22 回交通工学会発表会報告」 Vol. 38, No. 2, pp. 129-130	物流・駐車	高田邦道 岡村敏之	03 年　3 月
運輸交通計画研究室（轟　朝幸 助教授）			
■ 著書			
古今書院	空からみる国土の変遷＜日本写真測量学会編・分担執筆＞	轟　朝幸　他	02 年　7 月
■ 査読論文			
(社)土木学会土木計画学研究・論文集　Vol. 19, No. 4, pp. 657-664	市民参加型みなとづくりに関する実践的研究—高知港“浦戸湾 みらい会議”の場合—	河添典子　轟　朝幸 坂本導彦	02 年　7 月
Proceedings of the International Conference on Inter-City Transportation　Vol.2, pp. 644-650	Sensitivity analysis implementation in the evaluation of Kyushu international airport site selection	Saratchai ONGPRASERT, Tomoyuki TODOROKI & Noriko KAWAZOE	02 年 10 月
航空交通研究会論集「航空と空港の経済学」 pp. 151-158	地方空港の魅力づくりに関する考察—四国の空港を例に—	轟　朝幸	02 年 11 月

■ 口頭発表			
(社)土木学会四国支部第 8 回技術研究発表会 pp. 317-318	路面電車端末交通としての自転車利用実態調査	松本恭太郎 轟　朝幸	02 年　5 月
■ その他			
高知放送（テレビ）	特番「高知自動車道延伸」＜コメンテータ＞	轟　朝幸	02 年　9 月
高知新聞	特集「土佐の道を考える維新 2002」＜座談会＞	轟　朝幸	02 年 10 月
高知新聞	特集「これからの道路整備」＜コメント＞	轟　朝幸	02 年 11 月
さんさんテレビ（テレビ）	Think！公共交通を考えよう＜コメンテータ＞	轟　朝幸	03 年　2 月
情報工学研究室（中山晴幸 専任講師）			
■ 口頭発表			
Proceedings of the 5th International Conference on Civil Engineering（in printing）	The Study on Air Transport in East Asia	Haruyuki NAKAYAMA & Hiroto SASAKI	02 年　8 月
Proceedings of the 5th International Conference on Civil Engineering（in printing）	On the GIS Using Time Series Data in Northwest Area in Chiba	Haruyuki NAKAYAMA & Yusuke KATO	02 年　8 月
Proceedings of the 5th International Conference on Civil Engineering（in printing）	On a History and a Present Circumstances of Walking Aid for Persons with Visual Impairment in Japan	Haruyuki NAKAYAMA & Hiroshi SEKIGUCHI	02 年　8 月
9th World Congress on ITS Chicago	Trial Measurements of Driver Fatigue in Extended Driving Condition, proc. CD ITS2002	Haruyuki NAKAYAMA	02 年 10 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論 文集（都市・交通計画部会）pp. 440-441	日本におけるビジネスジェットの利用に関する研究	中山晴幸 佐々木啓人	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論 文集（都市・交通計画部会）pp. 432-433	長時間運転時のドライバーの疲労について	中山晴幸　佐藤太輔 清水貴志	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論 文集（都市・交通計画部会）pp. 402-403	明治時代から現代までの時系列データを扱う GIS の構築—とく に東葉高速鉄道開通前後に注目して—	中山晴幸　渡辺正憲 須藤悠介	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論 文集（都市・交通計画部会）pp. 410-411	GIS を用いた端末交通手段選択モデルの評価に関する研究	中山晴幸　加納英明 谷口滋一　中島正英 藤田裕司	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論 文集（都市・交通計画部会）pp. 416-417	歩行者のマイクロ・シミュレーション・システムの構築	中山晴幸 石川慎一郎	02 年 11 月
交通システム研究室（福田　敦 助教授・長井裕美子 助手）			
■ 査読論文			
自動車技術　Vol. 57, pp. 83-88	電動アシスト自転車による共同利用実験—日本大学理工学部船 橋キャンパス及びその周辺地域における取り組み—	福田　敦　青木義男 小早川悟	03 年　3 月
The Proceedings of 36th Annual Hawaii International Conference in System Sciences p. 92b（12 pages）	Testing Design of a Social Innovation — The Environmental Mitigation Banking System	Khalid SAEED & Atsushi FUKUDA	03 年　1 月
■ 口頭発表			
Proceedings of the 5th International Conference on Civil Engineering（in printing）	The Impact of Traffic Countermeasure at a Bus Stop of Epifanio de los Santos Avenue (EDSA) , Metro Manila	Mariko OZAKI, Alex M. FILLONE & Atsushi FUKUDA	02 年　8 月
第 57 回土木学会年次学術講演会概要集第Ⅳ 部門　pp. 9-10	トランジットモール導入時における来街者の回遊特性に関する 研究—那覇市国際通りを事例として—	金城一也　福田　敦 関　陽水	02 年　9 月
第 57 回土木学会年次学術講演会概要集第Ⅳ 部門　pp. 829-830	SP データを用いたファジィロジットモデルによる交通手段選 択行動の分析	関　陽水　福田　敦	02 年　9 月
第 57 回土木学会年次学術講演会概要集第Ⅳ 部門　pp. 547-548	ミネソタ州の道路整備事業における代償ミチゲーションの実施 状況に関する調査	伊東英幸　福田　敦 島崎敏一	02 年　9 月
第 1 回環境アセスメント学会研究発表会 2002 年度研究発表会論文要旨集　pp. 59-62	ミネソタ州の道路整備事業における環境アセスメントに関する 研究	伊東英幸　福田　敦 Sarna STRAUMANIS	02 年 9 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論 文集（都市・交通計画部会）pp. 436-437	東南アジアにおける二輪車の保有実態に関する調査	岡田祐香　福田　敦 長井裕美子 端野良彦	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論 文集（都市・交通計画部会）pp. 400-401	那覇市国際通りにおけるトランジットモール導入社会実験の報 告	金城一也　福田　敦	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論 文集（都市・交通計画部会）pp. 458-459	鉄道へのモーダルシフトによる CO ₂ 削減に対する排出権導入 に関する基礎的研究	河合俊幸　伊東英幸 福田　敦	02 年 11 月

第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（機械系部会） pp. 1004-1005				電動コミュニティービークルのオンラインヘルスモニタリングに関する研究	加藤雅崇 川端長勝	青木義男 福田 敦	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（特別部会） pp. 2-3				「理工学部船橋キャンパスにおけるカーシェアリングシステム導入社会実験」の報告	福田 敦 小早川悟 宇於崎勝也 岡野道治 青木義男 泉 隆	島崎敏一 関根太郎 篠田之孝 小山裕三	02 年 11 月
第 30 回土木学会関東支部技術研究発表会概要集				トランジットモール導入における乗用車利用者の経路変化に関する研究	来栖直樹 金城一也	福田 敦 岩田陽一	03 年 3 月
第 30 回土木学会関東支部技術研究発表会概要集				タイにおける二輪車及び四輪者保有の動向分析	端野良彦 長井裕美子 岡田祐香	福田 敦	03 年 3 月
第 30 回土木学会関東支部技術研究発表会概要集				東京圏の鉄道における需要の運賃弾力性に関する分析	香田淳一 金子雄一郎	福田 敦	03 年 3 月
第 30 回土木学会関東支部技術研究発表会概要集				普通乗用車専用立体交差導入における効果分析	室井寿明 小田崇徳	福田 敦	03 年 3 月
■ その他							
交通工学 Vol. 37, No. 1, pp. 3-9				経験を生かせないか	福田 敦		02 年 7 月
計画・交通研究会会報 2002-07 pp. 1-2				Opinion 「途上国における物流の将来を考える」	福田 敦		02 年 7 月
高速道路と自動車 Vol. 45, No. 11, p. 77				成功するパークアンドライド 失敗するパークアンドライド—マーケティングの視点から考える—<新刊紹介>	福田 敦		02 年 11 月
（財）佐川交通社会財団 交通安全対策振興助成研究報告書（一般研究） Vol. 17, pp. 7-14				大規模施設の開発に伴う交通特性に関する研究	福田 敦		02 年 12 月
IATSS Review Vol. 27, No. 4, pp. 4-7				社会に還元する交通研究<特集にあたって>	福田 敦		03 年 2 月
Monthly The Safety Japan				OPINION 「過去の交通問題への取り組みをアジア諸都市の交通問題に活かす」	福田 敦		03 年 3 月
環境アセスメント学会誌 Vol. 1, No. 1, p. 60				研究報告要旨「ミネソタ州の道路整備事業における環境アセスメントに関する研究」	伊東英幸 Sarma STRAUMANIS	福田 敦	03 年 3 月
交通環境研究室（藤井敬宏 助教授）							
■ 査読論文							
第 22 回交通工学研究会論文報告集 pp. 171-174				環境施設帯の整備評価方法の住民意識による適用性評価に関する研究	藤井敬宏 江澤雅代		02 年 11 月
■ 口頭発表							
日本福祉のまちづくり学会第 5 回全国大会（熊本市民会館）概要集 pp. 249-252				交通弱者に配慮した歩道優先順位の設定に関する基礎的研究	藤井敬宏	長野博行	02 年 8 月
第 57 回土木学会年次学術講演会（北海道大学）講演概要集 IV -182 pp. 363-364				ミチゲーショ ン概念を導入した土地区画整理事業に関する研究	森本浩平	藤井敬宏	02 年 9 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市・交通計画部会） pp. 430-431				鎌ヶ谷市内の通学路における交通事故分析に関する研究	岡田隆男	藤井敬宏	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市・交通計画部会） pp. 406-407				“住商混在地区における交通改善計画に関する研究—下田市既成市街地を対象として—”	古澤 亮	藤井敬宏	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市・交通計画部会） pp. 412-413				物流施設の立地を考慮したロードプライシング導入に関する研究	林 泰士	藤井敬宏	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市・交通計画部会） pp. 422-423				交通弱者に配慮した歩道整備優先順位に関する研究		長野博行 藤井敬宏	02 年 11 月
土木学会関東支部技術研究発表会（新潟大）講演概要集 IV -74				TMO 活動の実態比較分析	古澤 亮 狩野修輔	藤井敬宏	03 年 3 月
構造工学第一研究室（星埜正明 教授）							
■ 査読論文							
土木学会第 6 回衝撃問題に関するシンポジウム講演論文集				走行振動荷重を受ける RC はりの動的影響に関する実験的研究	阿部 忠 澤野利章 加藤清志	木田哲量 星埜正明	02 年 7 月
■ その他							
橋梁と基礎				コンピュータと橋梁技術<巻頭言>		星埜正明	02 年 6 月

地盤工学研究室（巻内勝彦 教授・峯岸邦夫 助手）

■ 査読論文

Geosynthetics (Proceedings of 7th International Conference on Geosynthetics) pp. 947-950	Performance testing method geotextile for interlocking block pavement	Seishi MEIARASHI, Katsuhiko MAKIUCHI, Takashi IIJIMA, Masaki MATSUSHITA, Haruo KAMIMURA & Yukihiko KOHATA	02 年 9 月
Geosynthetics (Proceedings of 7th International Conference on Geosynthetics) pp. 1265-1268	Reinforcement effects of short geofiber on shear strength and ductility of sandy soil	Kunio MINEGISHI & Katsuhiko MAKIUCHI	02 年 9 月
国際ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス論文集 第 17 巻 pp. 191-194	短枝付き短繊維混合土の力学的補強効果	星野郁夫 巻内勝彦 峯岸邦夫	02 年 12 月
国際ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス論文集 第 17 巻 pp. 173-176	ジオドレーンシート・盛土複合体における水理特性	増田貴之 巻内勝彦 峯岸邦夫 塩野真康	02 年 12 月
土木技術 58 巻 2 号 pp. 39-45	ジオシンセティックス規格の国際標準化の動向	巻内勝彦	03 年 2 月

■ 口頭発表

Proceedings of the 5th International Conference on Civil Engineering (in printing)	Mechanical characteristics of lightweight geomaterial under cyclic loadings	Kunio MINEGISHI, Katsuhiko MAKIUCHI, Satoshi KUZU & Ryo NEMOTO	02 年 8 月
Proceedings of the 5th International Conference on Civil Engineering (in printing)	Geofoam trench wall method for reducing ground vibration	Yosuke MIZUTANI, Katsuhiko MAKIUCHI, Kunio MINEGISHI & Manabu MIZUKAMI	02 年 8 月
(社)地盤工学会 第 37 回地盤工学研究発表会講演集 pp. 919-920	繰返し載荷を受ける発泡ビーズ混入軽量化地盤材の力学特性	峯岸邦夫 葛生智史 根本 亮	02 年 7 月
(社)地盤工学会 第 37 回地盤工学研究発表会講演集 pp. 1327-1328	火山灰質粘性土の強度変形特性に及ぼす繰返し載荷回数の影響	村田公宏 巻内勝彦 峯岸邦夫 榎本尚之	02 年 7 月
(社)地盤工学会 第 37 回地盤工学研究発表会講演集 pp. 1525-1526	ソイルセメントコラム頭部強度の安定性	水谷羊介 巻内勝彦 峯岸邦夫 水上 学	02 年 7 月
(社)地盤工学会 第 37 回地盤工学研究発表会講演集 pp. 2405-2406	伝播経路における地盤振動遮断対策工とその効果	水上 学 巻内勝彦 峯岸邦夫 水谷羊介	02 年 7 月
(社)土木学会 第 55 回年次学術講演会講演概要集 Ⅲ . 1567-1568	交通振動対策としての地盤振動減衰壁工法の適用に関する検討	山下太一郎 巻内勝彦 水谷羊介 峯岸邦夫 水上 学	02 年 9 月

(社)土木学会 第 55 回年次学術講演会講演概要集 Ⅲ . 1317-1318	ソイルセメントコラムの混合性能に及ぼす界面活性剤の効果	水上 学 巻内勝彦 峯岸邦夫 水谷羊介	02 年 9 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（土木系部会） pp. 542-543	土の熱伝導特性に及ぼす供試体状態量の影響	熊田一也 巻内勝彦 峯岸邦夫	02 年 11 月
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（土木系部会） pp. 550-551	飽和カオリン粘土の繰返し圧密現象における過圧密比の影響	石井大悟 巻内勝彦 峯岸邦夫	02 年 11 月
第 30 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集 Ⅲ－52	界面活性剤を添加したソイルセメントコラムの評価	水谷羊介 巻内勝彦 峯岸邦夫 水上 学	03 年 3 月
第 30 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集 Ⅲ－53	ポリカルボン酸系分散剤を添加したセメント安定処理土の強度特性	水上 学 巻内勝彦 峯岸邦夫 水谷羊介	03 年 3 月
第 30 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集 Ⅲ－54	飽和カオリン粘土の繰返し圧密現象に及ぼす圧力振幅の影響	石井大悟 巻内勝彦 峯岸邦夫	03 年 3 月
第 30 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集 Ⅲ－30	繰返し荷重下における関東ロームの力学特性	榎本尚之 宮森建樹 峯岸邦夫	03 年 3 月
第 30 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集 Ⅲ－81	盛土敷設ジオドレーンシートの通水・透水性能特性	塩野真康 巻内勝彦 峯岸邦夫 増田貴之	03 年 3 月
第 30 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集 Ⅲ－82	発泡ビーズ混入軽量化地盤材料の強度変形特性に及ぼす載荷条件の影響	葛生智史 峯岸邦夫 巻内勝彦 根本 亮	03 年 3 月

■ 報文・その他

国際ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス技術情報 Vol. 18, No. 2, pp. 58-59	「軽量土に関する国際ワークショップ（IW-LGM2002）」開催報告	峯岸邦夫	02 年 7 月
---	------------------------------------	------	----------

(社)地盤工学会　土と基礎　Vol. 50, No. 12, Ser. No. 539, pp. 41-42		第 37 回地盤工学研究発表会総括　3. 地盤材料：改良土（三軸試験・他　一軸試験・他　強度・他　物理化学的性質・他　流動化処理・他　管中混合処理・他）		峯岸邦夫	02 年 12 月
応用力学研究室（宮森建樹 教授）					
■ 査読論文					
土木学会論文集　No. 721/Ⅳ -57, pp. 207-219	土の物理化学的性質が改良土の初期性状と強度に及ぼす影響	青山　要 脇山哲也	宮森建樹 菊池大輔	02 年 12 月	
■ 口頭発表					
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集　pp. 556-557	砂質土のセメント安定処理に関する基礎的研究	菊池大輔 青山　要	宮森建樹	02 年 11 月	
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集　pp. 534-535	ADR 土壌水分計の適用性について	下辺　悟 宮森建樹	関根　喬	02 年 11 月	
構造工学第二研究室（柳沼善明 教授・齊藤準平 助手）					
■ 論文					
Innovations and Development in Concrete Materials and Construction　pp. 625-632	Mechanical Behaviour of Improved Super Lightweight Concrete Beams by Fibres or Prestressing.	Yoshiaki YAGINUMA & Yasuhiro UMEMURA	02 年　9 月		
■ 口頭発表					
Proceeding of 5th International Conference on Civil Engineering（CD-ROM）	Mechanical Behavior of Improved Super Lightweight Concrete Beams by Prestressing.	Yoshiaki YAGINUMA & Yasuhiro UMEMURA	02 年　8 月		
Proceeding of 5th International Conference on Civil Engineering（CD-ROM）	Flexural Behavior of Precast Block Beams Using External Prestressing Method.	Yoshiaki YAGINUMA & Junpei SAITO	02 年　8 月		
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（土木系部会） pp. 510-511	マイクロコンクリートの強度特性	柳沼善明　原　誠一	02 年 11 月		
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（土木系部会） pp. 512-513	再生骨材コンクリートの圧縮強度と引張強度	柳沼善明　加藤　淳	02 年 11 月		
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（土木系部会） pp. 516-517	塩害により腐食した RC はりの非破壊検査による健全度診断	柳沼善明　河野直生 武藤将章	02 年 11 月		
第 46 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（土木系部会） pp. 518-519	PC 桁の突起定着部の破壊実験	柳沼善明　大西正樹	02 年 11 月		
道路交通研究室（安井一彦 専任講師）					
■ 著書					
(社)交通工学会	改定　平面交差の計画と設計　基礎編＜共著＞	安井一彦　他	03 年　4 月		
■ 査読論文					
(社)交通工学会　第 22 回交通工学研究発表会論文集　p. 5-8	予告信号灯の表示方式と車両挙動に関する研究	安井一彦　越　正毅 宮田　晋　浅野栄吉	02 年 11 月		
(社)交通工学会　第 22 回交通工学研究発表会論文集　p. 57-60	東名高速道路大和トンネルにおける照明改良効果に関する研究	清宮広和　庄司　知 岡田成礼　安井一彦	02 年 11 月		
(社)交通工学会　第 22 回交通工学研究発表会論文集　p. 77-80	信号交差点における渋滞の緩和策とその効果評価	牧野晋也　越　正毅 安井一彦	02 年 11 月		
(社)交通工学会　第 22 回交通工学研究発表会論文集　p. 81-84	押しボタン式信号の系統化に関する研究	高橋匠史　越　正毅 安井一彦	02 年 11 月		
(社)交通工学会　第 22 回交通工学研究発表会論文集　p. 85-88	踏切信号機導入による交通容量の向上に関する研究	田島隆之　越　正毅 安井一彦	02 年 11 月		
■ その他					
テレビ東京ニュース番組特集	歩行者の命を守る分離信号	安井一彦	02 年　6 月		

社会的活動

■ 天野光一 教授

富士市　都市景観審議会会長
静岡県　都市景観賞審査委員会委員
富士宮市　都市景観審議会会長
四街道市　松並木通り景観検討委員会委員長
伊勢湾港道路景観検討委員会委員長
富士市　新富士川橋景観検討委員会委員長
景観型新車両用防護柵開発研究会委員長

■ 伊澤　岬 教授

八千代市　交通バリアフリー基本構想策定協議会会長
印西市　木下貝層・活用検討委員会委員
国土交通省　道路空間のユニバーサルデザインを考える懇談会委員
国土交通省　道路空間のユニバーサルデザインを考える懇談会 WG 委員
土木学会　景観・デザイン委員会委員

■ 伊東　孝 教授

文部科学省　文化庁文化審議会専門委員
東京都　文化財保護審議会専門委員
埼玉県　文化財保護審議会専門委員
富山県　文化財保護審議会専門委員
東京都　景観審議会専門委員
千代田区　景観まちづくり審議会委員
(社)土木学会　土木史研究委員会委員
(社)土木学会　土木史研究委員会オーラル・ヒストリー研究小委員会小委員長
(社)土木学会　選奨土木遺産選考委員会委員
(社)土木学会　関東支部選奨土木遺産選考委員会委員長
(社)土木学会　関東支部運営幹事会幹事
(社)土木学会　万年橋歴史調査委員会委員長
(社)研究産業協会　産業技術歴史継承調査　土木技術に関する調査研究委員会委員長
(財)えひめ地域政策研究センター　愛媛県近代化遺産等総合調査委員会委員長
(財)港湾空間高度化環境研究センター　湾口航路調査検討委員会委員
(財)国土技術研究センター　東海道道路構造解析調査委員会委員
(財)江戸東京博物館　運営委員会企画展示専門部会委員
全国町並み保存連盟　副会長
産業考古学会　理事
(社)日本ナショナル・トラスト　評議員
みんなのチエを集めて勝岡橋をあげる会　代表
まちづくり鞆工房（NPO）顧問

■ 岩井茂雄 助教授

(社)土木学会　表彰委員会委員
(社)土木学会　論文賞選考委員会委員
(社)土木学会　技術功労賞選考委員会委員長
(社)土木学会　継続教育実施委員会幹事
(社)土木学会　継続教育実施委員会・継続教育実施検討小委員会小委員長
(社)土木学会　土木教育委員会・生涯教育小委員会委員

(社)土木学会　土木製図基準改訂委員会委員
(社)土木学会関東支部　商議員
(社)地盤工学会　地盤工学表記法検討委員会委員兼幹事
(財)防衛施設技術協会　評議員
(社)日本石灰協会　石灰安定処理委員会委員
(株)建設図書「舗装」編集委員会委員
千葉県八千代市　一般廃棄物最終処分場改修計画専門委員会委員

■ 川西崇行 副手

関東都市学会　幹事
都市防災研究会（横浜市）　幹事会オブザーバー
旧東方文化学院の建物を活かす会　運営委員
赤レンガの東京駅を愛する市民の会　東京駅復元ワーキンググループ
(特)まち研究工房　副代表理事

■ 小早川　悟 助手

(社)交通工学会　平面交差企画委員会委員
(社)交通工学会　広報委員会委員

■ 下辺　悟 助教授

人事院　平成 15 年度国家公務員採用Ⅱ種試験（土木）試験専門委員

■ 高田邦道 教授

(社)土木学会　フェロー会員
日本都市計画学会　評議員
国際交通安全学会　顧問
日本交通政策研究会　会員
国土政策研究会　理事
日本駐車場工学会　理事
羽村市　長期総合計画審議会委員
千葉県　大気環境保全対策専門委員
千葉県警察本部　千葉県 UTMS 推進連絡協議会会長
白井市　都市計画審議会会長

■ 轟　朝幸 助教授

(社)土木学会　土木計画学研究委員会バス研究小委員会委員
(社)土木学会四国支部　土木学会四国支部幹事会幹事兼事務局長
(社)土木学会四国支部　四国の高速道路有効活用研究委員会委員
国土交通省道路局　道路の質から見たサービス水準評価に関する研究会委員
国土交通省港湾局　人流に関する事業評価ワーキンググループ委員
国土交通省航空局　開発途上国における航空安全施設整備の支援調査検討会委員
国土交通省四国地方整備局　四国地方整備局事業評価監視委員会委員
国土交通省四国地方整備局　四国における臨海部産業動向研究会委員
国土交通省四国地方整備局　四国 21 世紀の道ビジョン検討会委員
国土交通省四国地方整備局　四国港湾物流検討委員会委員
国土交通省四国運輸局　嶺北地域における国土保全に資する地

域活性化計画・四国運輸局ワークショップ委員兼座長
国土交通省高松港湾空港技術調査事務所 環境配慮型港湾施設の満足度評価に関する検討委員会委員
国土交通省高知港湾工事事務所・高知県・高知市 高知港ハーバリフレッシュ 21 検討調査委員会委員兼三里部会副部長
高知県 大型店舗立地審議会委員
高知県 地域 ITS (KoCoRo) 総合部会アドバイザー
高知県 道路懇談会委員
高知県 都市計画道路はりまや町一宮線はりまや工区検討会委員
高知市 都市計画審議会委員
高知市 移動円滑化調査検討会委員兼座長
高知市 障害者計画推進協議会委員
高知県須崎市 津波対策検討委員会委員
高知県香美郡土佐山田町 総合交通体系調査委員会委員兼座長 (NPO 法人) 高知 NPO 浦戸湾みらい会議世話人
土佐経済同友会 特別会員・交通インフラ委員会副委員長

■ 福田 敦 助教授

(社)土木学会 土木計画学研究委員会幹事兼委員
(社)土木学会 技術推進機構技術者教育プログラム審査委員会幹事
(社)土木学会 技術推進機構技術者教育プログラム審査委員会広報小委員会幹事長
(社)土木学会 資格制度「調査・計画」分野別小委員会委員
(社)交通工学研究会 大都市交通問題対策委員会委員
(社)交通工学研究会 研究委員会委員
(社)国際交通安全学会 学会誌編集員会委員
(社)国際交通安全学会 ISSOT アドバイザー
計画・交通研究会 事務局次長
アジア交通学会 国際学術委員会委員
CUPUM'03 (The 8th International Conference on Computers in Urban Planning and Urban Management) プログラム委員会幹事
国際協力事業団 チェンマイ市交通環境調査作業監理委員会委員長
(財)海外運輸協力協会 平成 14 年度エコトランスポート協力支援事業委員会 (国土交通省委託) 委員長
(財)高速道路技術センター 移動体向け放送の道路管理への適用検討委員会委員長
千葉県警察 「21 世紀の交通施策を語る会」会長
八千代市 都市計画審議会委員
那覇市 トランジットマイル社会実験推進委員会幹事会副代表幹事
東京湾岸地域大学間コンソーシアムによる社会人キャリア・アップ運営協議会 (TOBAC) 土木・建築産業分野分科会委員

■ 藤井敬宏 助教授

船橋市 都市計画審議会委員
柏市 バリアフリー円滑化検討委員会委員
(財)道路経済研究所 物流マネジメント検討委員会委員

■ 星埜正明 教授

(社)土木学会 鋼構造委員会委員

■ 巻内勝彦 教授

日本学会会議 第 5 部会社会環境工学研究連絡会地盤環境工学専門委員会委員
経済産業省 日本工業標準調査会 (JIS) 土木技術専門委員会委員
経済産業省 土木技術専門委員会企画ワーキンググループ委員

(社)土木学会 ISO 対応特別委員会幹事兼委員
(社)土木学会 細粒分の境界粒径に関する検討小委員会委員長
(社)地盤工学会 ISO 検討委員会委員長
(社)地盤工学会 ジオシンセティックス国際標準対応委員会委員
国際ジオシンセティックス学会 (IGS) 日本支部 副支部長
国際ジオシンセティックス学会 (IGS) 日本支部 2006 国際会議実行委員会副委員長
国際ジオシンセティックス学会 (IGS) 日本支部 技術情報編集委員会委員長
国際ジオシンセティックス学会 (IGS) 日本支部 表彰委員会委員
(社)電気設備学会 電力用ケーブルの地中埋設の施工方法 JIS 改正原案作成調査委員会委員長
(社)インターロッキング舗装技術協会 監事
(社)インターロッキング舗装技術協会関東支部 技術委員会委員長
(社)インターロッキング舗装技術協会 舗装技術委員会特別委員
(社)日本規格協会 ブロック舗装用繊維材料の性能評価方法の標準化委員会委員長
(社)日本建材産業協会 ブロック舗装用繊維材料の性能評価標準化ワーキンググループ委員長
(財)土木研究センター 土木工学国際研究交流助成制度選考委員会委員
(財)土木研究センター 多数アンカー式補強土壁工法マニュアル改訂委員会委員長
(財)土木研究センター アンカー式補強土壁工法研究委員会委員長
(財)土木研究センター 箱型擁壁に関する耐震性技術検討委員会委員長
(財)土木研究センター 侵食防止シート検討委員会委員長
(財)土木研究センター 盛土補強用ジオグリッドアデム審査証明委員会委員
(財)土木研究センター 排水性盛土補強ジオテキスタイルダイヤベース審査証明委員会委員
(財)土木研究センター 盛土補強用ジオグリッド スパイクグリッド審査証明委員会委員
(財)土木研究センター 袋型根固め工法用袋材 E-ユニット審査証明委員会委員
(財)高速道路技術センター 気泡混合軽量土を用いた軽量盛土工法の付帯工に関する検討委員会委員
(財)国土技術研究センター 土木分野における技術標準等の規格体系の枠組みに関する研究会委員

■ 峯岸邦夫 助手

(社)土木学会 生涯学習小委員会幹事兼委員
(社)土木学会 技術功労賞選考委員会幹事
(社)地盤工学会 入門書等企画委員会委員
(社)地盤工学会 「地盤技術者のための衛星リモートセンシング入門」編集委員会幹事兼委員
(社)地盤工学会 「土の見方入門」編集委員会編集委員兼執筆委員
(社)地盤工学会 環境負荷軽減・コスト縮減を目指した混合地盤材料の適用性に関する研究委員会委員
国際ジオシンセティックス学会日本支部 幹事
国際ジオシンセティックス学会日本支部 行事委員会委員長
国際ジオシンセティックス学会日本支部 表彰委員会委員

■ 柳沼善明 教授

(社)土木学会 コンクリート建造物の非線形解析技術研究小委員会委員

■ 安井一彦 専任講師

(財)日本交通管理技術協会 参与 (兼職)
千葉県警察本部 UTMS 推進協議会 幹事長
千葉県警察本部交通事故調査委員会 委員
警察庁踏切道に関する安全対策委員会 委員
新潟都市圏 TDM 施策検討委員会 新潟県・新潟市 副委員長
(財)高速道路調査会 交通工学研究部会委員
(財)高速道路調査会 交通運用研究委員会委員
(財)日本交通管理技術協会 交通安全施設の効果に関する調査研究委員会委員
(財)日本交通管理技術協会 交通渋滞の将来予測技術に関する調査研究委員会委員
(財)日本交通管理技術協会 交通渋滞統計及び収集方法に関する

学外学術活動

■ 天野光一 教授

パネルディスカッションコーディネータ：第 5 回景観・デザインワークショップ (東京工業大学) ／土木学会 2002. 1. 15
講師：景観関連／国土交通大学校研修
非常勤講師：長岡技術科学大学
非常勤講師：岐阜大学
非常勤講師：東京外国語大学

■ 伊澤 岬 教授

講演：「イタリアの都市デザインと八千代緑が丘のまちづくり」／APA グループ「第 5 回まちづくりセミナー」2002. 6. 2
講演：「京都のまちづくりとみちづくりー観光バリアフリーとユニバーサルデザインをめざしてー」／京都道路建設業協会 2002. 9. 3
講演：「インフラに付属する交通施設の計画とデザイン」／JH 日本道路公団 2002. 10. 17
講演：「建築と土木の融合ーその幻想と現実、そして将来ー」／建築家フォーラム 2002. 10. 31
講演：「北上市景観シンポジウム・美と基準づくりは可能か」／きたかみ DESIGN ネットワーク 2002. 11. 9
講演：「グループ診療におけるまちづくりと施設づくり」／日本グループ診療研究会 2002. 11. 10
講演：「建築と土木の融合ーその理念と実践ー」／日本建築家協会福岡支部 2002. 11. 22

■ 伊東 孝 教授

講演：「現地で学ぶ隅田川橋物語」／NPO 墨田区生涯学習センター「さくらカレッジ」2002. 4. 13、4. 27 (以上講義)、5. 11、5. 25、6. 8、6. 15 (以上現地案内)
司会：第 22 回土木史研究発表会 (北海道北見芸術文化ホール) ／土木学会 2002. 6. 21
講演：「近代土木遺産の保存と活用」／全国史跡整備市町村協議会 2002. 7. 12
審査員：「川の日」ワークショップ／「川の日」ワークショップ実行委員会 2002. 7. 13
講演：「万代橋 重要文化財にむけて」／万代橋フォーラム 2002. 7. 18

調査研究委員会委員
(社)新交通管理システム協会 警察の ITS にかかわるシステムアーキテクチャ調査研究委員会委員
(財)道路サービス機構 道路サービスアドバイザー
(社)交通工学研究会 平面交差の設計と運用改定委員会幹事
(社)交通工学研究会 交通工学査読委員会委員
(社)交通工学研究会 首都高速道路における交通安全対策調査研究委員会委員
(社)交通工学研究会 交通事故対策マニュアル検討委員会委員
(社)交通工学研究会 交通技術に関する認証制度検討小委員会委員
(社)交通工学研究会 雑誌交通工学編集委員会委員
(社)交通工学研究会 容量委員会委員
(社)交通工学研究会 交通工学ハンドブック改定委員会幹事

パネルディスカッション：「暮らしや歴史を活かすー内子の景観」／内子町 2002. 10. 21
講演と現地見学：「横浜・川崎のウォーターフロントと産業土木遺産」／神奈川県 2002. 10. 28
講演：「江戸・東京の橋」／三鷹市 2002. 10. 29
講演：「近代化遺産の魅力」／日本地理教育学会 2003. 2. 8
講演：「橋の見方・楽しみ方」／全国こども橋サミット 2003. 3. 29

■ 岩井茂雄 助教授

講師：「透水性舗装でアメニティ向上」／全国建設研修センター 2002. 5. 14
司会：5th International Conference on Civil Engineering (第 5 回土木工学会議) ／日本大学理工学部と国立フィリピン工科大学共催 2002. 8. 28、29
講演：「快適で安全な道を造る最新の舗装技術」／東京都交通安全協会 2002. 11. 22
講演：「バリアフリーとヒートアイランド対策」／インターロッキングブロック舗装技術協会・中部支部 2003. 1. 15

■ 齊藤準平 助手

副座長：5th International Conference on Civil Engineering 2002. 8. 30

■ 轟 朝幸 助教授

司会：第 8 回土木学会四国支部技術研究発表会／土木学会四国支部 2002. 5. 18
司会：第 57 回土木学会年次学術講演会 (札幌大会) ／土木学会 2002. 9. 27
講師：四国地方開発促進計画の重点課題に関する研究会／国土交通省国土計画局 2003. 3. 12

■ 中山晴幸 専任講師

コメンテータ：テレビ朝日 J チャンネル (ニュース番組)
座長：5th International Conference on Civil Engineering Manila

■ 福田 敦 助教授

司会：「市民参加型まちづくりへの挑戦！」／計画交通研究会
定例研究会 2002. 4. 10
司会：「NEW ダウンタウン：街の賑わいづくり」／計画交通研
究会定例研究会 2002. 5. 8
司会：『環境 PFI』の提案と実現化の可能性について」／計画
交通研究会定例研究会 2002. 6. 21
講師：「認定・審査の手順と方法」／JABEE による教育プロ
グラムの審査認定と審査員養成のための土木工学分野研修
会／土木学会技術者教育プログラム審査委員会 2002. 6. 28
パネラー：「国際開発援助と連携した教育と研究—土木計画学分
野において—」／スペシャルセッション「土木計画と国際化」
／土木学会土木計画学研究発表会春大会 2002. 6. 6
パネラー：Plenary Session 「Cooperation Among Asia-Pacific
Rim Countries」／5th Asia-Pacific ITS Forum（ソウル）
／ITS Japan 2002. 7. 2
講 演：「Introduction of Traffic Impact Study for Site
Development」／Workshop on Urban Development（バ
ンコク）／国際協力事業団・都市地方計画局（DTCP）・バ
ンコク首都圏局（BMA） 2002. 8. 27
パネラー：研究討論会「東アジアの都市交通環境改善—物流問
題を中心として—」／第 56 回土木学会年次学術講演会／土
木計画学研究委員会・国際委員会 2002. 9. 25
招待講演：「How innovation technologies can help transportation
sector solving its impacts in Asian Countries」／8th
International Student Seminar on Transportation Research
／国際交通安全学会（幕張）2002. 10. 17
招 待 講 演：「Fruitfulness of ITS in Japan and Its Future
Perspectives in Asia」／the 8th National Convention on Civil
Engineering／the Engineering Institute of Thailand（コン
ケン大学）2002. 10. 24
コメンテータ：第 24 回土木計画学研究発表会（岩手大学）／
土木学会 2002. 11. 2

海外出張

教員名	出張期間／出張目的／訪問国
伊東 孝 教授	2003 年 8 月 13 日～21 日／アテネ・クレタ島の古代インフラ遺構の視察／ギリシア
伊東 孝 教授	2003 年 8 月 28 日～9 月 4 日／第 5 回土木工学会議（5 ICEE）論文発表／フィリピン
伊東 孝 教授	2003 年 8 月 17 日～24 日／ORC 整備事業のためのベトナム各都市の近代遺産および発掘現場の視察／ベト ナム
岩井茂雄 助教授	2002 年 7 月 2 日～4 日／第 5 回土木工学会議および第 3 回機械工学会議のプログラム作成ならびに運営準備 のため／フィリピン
岩井茂雄 助教授	2002 年 8 月 28 日～9 月 2 日／第 5 回土木工学会議および第 3 回機械工学会議での論文発表、司会ならびに 会議運営のため／フィリピン
岩井茂雄 助教授	2002 年 9 月 4 日～29 日／欧州諸国の水循環及び汚染地盤浄化に関する調査・研究のため／ドイツ・ポーラ ンド・イタリア・フランス
齊藤準平 助手	2002 年 8 月 28 日～9 月 1 日／5th International Conference on Civil Engineering 論文発表／フィリピン
高田邦道 教授	2002 年 11 月 18 日～23 日／シアトル市の交通・道路管理の視察／米国ワシントン州シアトル市
轟 朝幸 助教授	2002 年 8 月 25 日～9 月 1 日／東南アジア道路交通問題実態調査／インドネシア・タイ・カンボジア
轟 朝幸 助教授	2002 年 10 月 6 日～13 日／開発途上国における航空安全施設整備の支援現地調査／インドネシア
轟 朝幸 助教授	2002 年 11 月 5 日～9 日／都市間交通国際会議参加／中国

講演：「JABEE への対応～私立大学の視点から～」／名城大学
理工学部懇話会 2002. 11. 9
司会：「途上国の都市交通環境改善への貢献」／計画交通研
究会定例研究会 2002. 11. 26
講師：JICA 第三国研修 EXETRAM V（フィリピン大学交通
研究センター）／国際協力事業団・フィリピン大学交通研
究センター 2002. 12. 9～11

■ 藤井敬宏 助教授

基調講演：「移動制約者に配慮した歩道整備について」／市原
市役所 2003. 3. 20
幹事：ワークショップ：「バリアフリーワークショップ第 3 回」
／柏市役所 2002. 11. 23

■ 巻内勝彦 教授

講演：「補強土工法の最近の動向—設計法の現状と今後—」／
多数アンカー式補強土工法設計・施工マニュアル改訂版説
明会／助土木研究センター 2003. 1. 24（仙台）、2003. 2.
21（新潟）

■ 峯岸邦夫 助手

座長：第 37 回地盤工学研究発表会（大阪市）／改良土セッショ
ン／(社)地盤工学会 2002. 7. 17
座長：第 30 回関東支部技術研究発表会（新潟大学）第Ⅲ部門
／(社)土木学会関東支部 2003. 3. 11
司会：第 46 回日本大学理工学部学術講演会（日本大学）土木
系（地盤工学）／日本大学理工学部 2002. 11. 20

■ 安井一彦 専任講師

座長：第 56 回土木学会年次学術講演会 2002. 11. 2～4

中山晴幸 専任講師 2002 年 8 月 26 日～30 日／5th International Conference on Civil Engineering Manila／Philippines
中山晴幸 専任講師 2002 年 10 月 15 日～20 日／9th World Congress on ITS Chicago／USA
福田 敦 助教授 2002 年 3 月 26 日～4 月 1 日／国際協力事業団 タイ都市開発技術向上プロジェクト「プランニング分野」
の短期専門家／タイ
福田 敦 助教授 2002 年 6 月 11 日～15 日／国際協力事業団 タイ国チェンマイ市交通環境改善計画調査（第 2 年次）現地作
業監理／タイ
福田 敦 助教授 2002 年 7 月 1 日～2 日／ITS Japan 5th Asia-Pacific ITS Forum／韓国
福田 敦 助教授 2002 年 8 月 4 日～7 日／国際協力事業団 タイ国チェンマイ市交通環境改善計画調査（第 2 年次）現地作業
監理およびセミナー開催／タイ
福田 敦 助教授 2002 年 8 月 11 日～29 日／国際協力事業団 タイ都市開発技術向上プロジェクト「プランニング分野」の短
期専門家／タイ
福田 敦 助教授 2002 年 10 月 22 日～27 日／the 8th National Convention on Civil Engineering of the Engineering Institute
of Thailand／タイ
福田 敦 助教授 2002 年 11 月 30 日～12 月 6 日／(財)日本交通管理技術協会 交通管理技術等を海外に移転するための調査／
ベトナム
福田 敦 助教授 2002 年 12 月 8 日～12 日／国際協力事業団 都市環境と交通政策在外技術研修(EXTRAM V) 短期専門家(講
師)／フィリピン
福田 敦 助教授 2003 年 1 月 11 日～18 日／The 82nd Annual Meeting of Transportation Research Board／米国
藤井敬宏 助教授 2002 年 8 月 26 日～9 月 12 日／第 16 回社会交通工学科学生海外研修旅行「歴史的文化遺産と最新の開発計
画を訪ね、世代を超えた都市・交通を探る」(引率)／イタリア・フランス・スペイン・イギリス
巻内勝彦 教授 2002 年 9 月 21 日～30 日／第 7 回国際ジオシンセティックス会議参加のため／フランス国ニース
峯岸邦夫 助手 2002 年 9 月 21 日～30 日／第 7 回国際ジオシンセティックス会議参加のため／フランス国ニース
柳沼善明 教授 2002 年 9 月 1 日～18 日／国際会議（Challenges of Concrete Construction）論文発表ならびに構造物のメン
テナンスに関する調査／イギリス
安井一彦 専任講師 2002 年 7 月 11 日～14 日／台湾の交通信号制御システムに関する調査／台湾交通部運輸研究所
安井一彦 専任講師 2002 年 7 月 1 日～4 日／ITS アジアパシフィックセミナーテクニカルセッション／ソウル
安井一彦 専任講師 2002 年 11 月 21 日～24 日／ソウル市信号制御システム COSMOS2000 評価プロジェクト支援／ソウル

助成研究・委託研究

助成金名・委託元等（研究期間） 研究課題	教員名
科学研究費補助金（2002. 4～2003. 3） 土木史研究におけるオーラルヒストリー手法の活用とその意義—高速道路に焦点をあてて—…… 伊東 孝教授（研究代表者）他 6 名	
科学研究費補助金（2002. 4～2003. 3） 歴史的都市・村落の環境保全に関する調査研究…… 伊東 孝教授 他 8 名	
ORC 整備事業 文化遺産保護・修復プロジェクト実行委員会 …… 伊東 孝教授 他 14 名	
(社)研究産業協会（2002. 10～2003. 3） 産業技術歴史継承調査 我が国の独創性と創造性に関する調査…… 伊東 孝教授（委員長）他 9 名	
(社)土木学会関東支部 土木施設等に関する情報提供検討業務…… 伊東 孝教授	
東京エンジニアリング(株) 万年橋歴史的調査に関する研究…… 伊東 孝教授	
日本学術振興会・科学研究費補助金（2000. 4～2003. 3） 端末物流システム構築のための社会実験的研究…… 高田邦道教授・藤井敬宏助教授・小早川 悟助手 他 7 名	
印西市（2002. 4～2002. 12） 公共施設等循環バス見直し調査…… 高田邦道教授	
羽村市（2002. 4～2003. 3） 人にやさしい道路ネットワーク化工事基本計画委託…… 高田邦道教授	
日本信号(株)（2002. 4～2003. 3） ITS を考慮した交通情報システムに関する研究（その 3） …… 高田邦道教授	
科学研究費補助金（2001. 4～2003. 3） 道路投資評価における価値規範の地域格差分析…… 轟 朝幸助教授（研究代表）	

科学研究費補助金（2002. 4 ～ 2004. 3）
都市の生活の質評価システムとその適用…………… 轟 朝幸助教授
日本大学学術研究助成（2002）
運転中のドライバーの疲労に関する研究…………… 中山晴幸専任講師
平成 14 年度理工学部特別推進研究 C（2001. 4 ～ 2002. 3）
日本大学理工学部における理工系英語オンライン学習システムの開発に関する基礎研究
…………… 巻内勝彦教授・福田 敦助教授・小早川 悟助手 他 6 名

（財）国土技術研究センター（2003. 2 ～ 2004. 1）
都市道路の渋滞緩和に関する研究…………… 福田 敦助教授（研究代表）他 2 名

（財）国際交通安全学会（2003. 4 ～ 2004. 3）
開発途上国におけるオートバイの都市交通手段としての役割と限界に関する研究（Project H491）
…………… 福田 敦助教授（研究代表）他 4 名

日石プラスト㈱（2002. 6. 24 ～ 2003. 3. 31）
強化不織布を用いたジオコンポジットの性能に関する研究…………… 巻内勝彦教授
戸田建設㈱（2002. 7. 1 ～ 2003. 3. 31）
自動コーン指数測定装置の開発のうち、締固め方法の差異による測定結果の評価方法に関する研究…………… 巻内勝彦教授
前田工繊㈱（2002. 4. 1 ～ 2003. 3. 31）
ジオシンセティックスに関する研究…………… 巻内勝彦教授

理工学部研究費（2001. 4 ～ 2002. 3）＜昨年度の追加分＞
交通荷重下における軽量化地盤材料の工学的特性…………… 峯岸邦夫助手
住友電工㈱（2002. 11 ～ 2003. 3）
交通管理方策に関する研究…………… 安井一彦専任講師

平成 14 年度 各賞受賞者

賞（受賞年月）	教員名
36th Annual Hawaii International Conference in System Sciences Best Paper Award in Decision Technologies in Management Truck（2003 年 1 月）…………… 福田 敦助教授・Khalid SAEED（Professor of Worcester Polytechnic Institute） 第 22 回交通工学研究発表会研究奨励賞（2002 年 11 月） …………… 安井一彦専任講師・越 正毅（東京大学名誉教授）・宮田 晋（警視庁交通部）・浅野栄吉（元木組）	

平成 14 年度 学生の活動

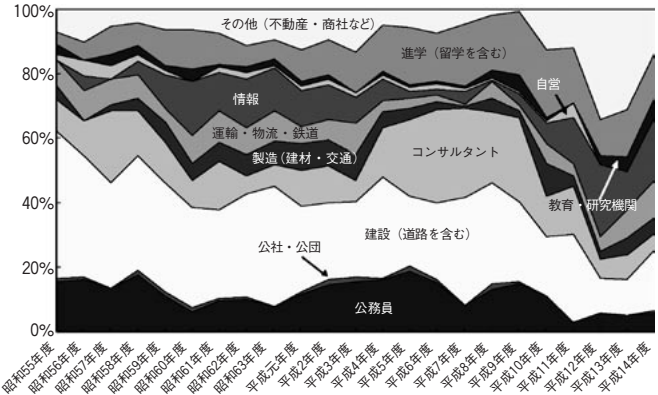
主催者（受賞年月）／ 賞などの内容	受賞者氏名
土木学会関東支部（2003 年 3 月）／技術研究発表会／第 3 部門優秀発表賞 …………… 塩野真康（地盤工学研究室）	
都市整備公団主催 ㈱都市開発技術サービス企画（2002 年 11 月）／坪井地区街並みデザインアイデア募集／優秀アイデア …………… 稲葉 修（デザイン研究室）	
都市整備公団主催 ㈱都市開発技術サービス企画（2002 年 11 月）／坪井地区街並みデザインアイデア募集／佳作アイデア …………… 石井紀央（デザイン研究室） 中嶋 崇・萩原麻衣子（デザイン研究室）	
（社）千葉県建築士会・（社）日本建築家協会千葉・千葉県建築設計管理協会・（社）千葉県建築士事務所協会「千葉県建築四会」（2003 年 3 月） ／第 15 回千葉県建築四会学生賞／千葉県建築四会学生賞、奨励賞 …………… 中嶋 崇（デザイン研究室） 萩原麻衣子（デザイン研究室）	
日本大学（2003 年 3 月）／日本大学優等賞 …………… 萩原麻衣子（デザイン研究室） 田中弓子（交通計画第二研究室） 斎藤祐紀（交通計画第二研究室） 室井寿明（交通システム研究室）	
日本大学（2003 年 3 月）／日本大学理工学部校友会桜工賞 …………… 加茂 伸（環境工学研究室） 田中弓子（交通計画第二研究室） 千葉慎也（構造工学第一研究室） 水上 学（地盤工学研究室）	

平成 14 年度 就職状況

平成 14 年度 4 年生担任 中山晴幸

平成 14 年度理工学部交通土木工学科卒業生および大学院理工学研究科社会交通工学専攻修了者の就職状況は、前号（2002 年 2 号）で速報を示したが、今回は 3 月 25 日（卒業式）現在の最終状況をまとめたので報告する。平成 14 年度の学部卒業生は 153 名、大学院修了生は 18 名であった。これから学部卒業生で進学あるいは留学した人数および研究生の合計 27 名を差し引くと、就職を希望していた学生は 126 名となる。表に示したように卒業後就職した人数は 117 名であるから就職率は 92.9%である。大学院の状況は、進学、留学および研究生が 4 名で就職希望者は 14 名、そのうち就職した者が 11 名で就職率は 78.6%となった。

グラフには過去 23 年間の就職状況の変動を示したが、これまで 10%以上を占めていた公務員が、ここ 3 年ほどその半数程度となっている。また、コンサルタントも低下しており、平成 14 年度は 5.2%まで落ち込んでいる。景気低迷が就職状況に与えている影響は大きいが、情報関連産



業や物流などの分野へは堅調で、建設関係も一定のシェアを確保しており、学生諸君の健闘ぶりが見られる。今後ますます厳しくなる就職状況であるが、教職員・学生諸君が一丸となって努力する必要がある。

業種	就職先	学部	大学院
進学	東京大学大学院工学系研究科	1	0
	日本大学大学院理工学研究科	19	1
	留学	1	1
進学計		21	2
公務員	国土交通省関東地方整備局	1	0
	静岡県庁	1	0
	東京都新宿区役所	0	1
	市原市役所	1	0
	いわき市役所	1	0
	高知市役所	0	1
	古河市役所	1	0
	館山市役所	1	0
	七尾市役所	1	0
	見附市役所	1	0
	新潟県分水町役場	1	0
公務員計		9	2
公社・公団	日本郵政公社	1	0
公社・公団計		1	0
建設業	㈱アサンテ	1	0
	㈱アベルコ	1	0
	㈱石井組	1	0
	㈱伊藤水道	1	0
	植松建設㈱	1	0
	エスアールジータカミヤ㈱	1	0

業種	就職先	学部	大学院
	大蔵建設㈱	1	0
	大林道路㈱	1	0
	小田急建設㈱	1	0
	㈱ガイアートクマガイ	1	0
	化工建設㈱	1	0
	河本工業㈱	1	0
	木下建設㈱	1	0
	京王建設㈱	1	0
	三立建設㈱	0	1
	㈱誠工舎	1	0
	第一建設工業㈱	1	0
	大同工業㈱	1	0
	太平電業㈱	1	0
	㈱土屋組	1	0
	東亜道路工業㈱	1	0
	日本基礎工業㈱	1	0
	㈱フジタ	1	1
	三井道路㈱	1	0
	名工建設㈱	1	0
	㈱山形建設	1	0
	山田建設㈱	1	0
	㈱ユーディケー	2	0
	りんかい建設㈱	1	0
建設業計		29	2

業種	就職先	学部	大学院
コンサルタント	(株)アーバントラフィックエンジニアリング	1	0
	(株)キストーン	1	0
	基礎地盤コンサルタンツ(株)	1	0
	(株)北山創造研究所	1	0
	(株)サーベイリサーチセンター	1	0
	(株)社会システム研究所	0	1
	不二総合コンサルタント(株)	1	0
	三井造船システム技研(株)	1	0
	(株)ワークビジョン	1	0
コンサルタント計		8	1
物流	NEC ロジスティックス(株)	2	0
	川崎陸送(株)	1	0
	カンダコーポレーション(株)	1	0
	佐川急便(株)	3	0
	佐川物流サービス(株)	1	0
	(株)昭和	1	0
	センコー(株)	0	1
	(株)ソクハイ	1	0
	東急ロジスティックス(株)	1	0
	(株)日立物流	1	0
	(株)ホープ	1	0
	三菱電機ロジスティックス(株)	1	0
	レンゴー(株)	2	0
物流計		16	1
情報・ソフト	あさひ銀ソフトウェア(株)	1	0
	NEC 東芝情報システム(株)	1	0
	NTT データクリエーション(株)	1	0
	(株)愛媛電算	1	0
	エフエフジー	1	0
	オムロンフィールドエンジニアリング(株)	1	0
	(株)コンピュータアプリケーションシステムサービス	1	0
	(株)JR 東日本情報システム	1	0
	(株)JTB 情報システム	1	0
	シグマトロン(株)	1	0
	(株)ジャステック	2	0
	住友セメントシステム開発(株)	1	0
	(株)ソフトウェア	2	0
	(株)ティー・エフ・シー	1	0
	(株)データ通信システム	2	0
	鉄道情報システム(株)	1	0
	(株)電通国際情報サービス	1	0
	東京海上システム開発(株)	1	0
	東京コンピュータサービス(株)	1	0
	(株)東計電算	1	0
	(株)ドルフィン	1	0
	日本テクノシステム(株)	1	0
	富士ソフトエービーシー(株)	1	0
	松下システムエンジニアリング(株)	1	0
	三井情報開発(株)	0	1

業種	就職先	学部	大学院
	(株)ユニバーサルコンピュータシステム	1	0
	(株)ライテック	2	0
情報・ソフト計		30	1
不動産	カイト(株)	1	0
	(株)ダイナシティ	1	0
	東急リバブル(株)	1	0
	(株)中央住宅	0	1
	(株)ハウスメイト	1	0
	三井不動産住宅サービス(株)	1	0
不動産計		5	1
鉄道	東日本旅客鉄道(株)	2	0
鉄道計		2	0
製造・建材	交通システム電機(株)	1	1
	伊藤鉄工(株)	1	0
	(株)小松製作所	1	0
	(株)京三製作所	0	1
	(株)シャノン	1	0
	千葉窯業(株)	1	0
	エスビック(株)	1	0
	東洋エクステリア(株)	1	0
製造・建材計		7	2
学校	アン・ミュージックスクール東京校	1	0
	茨城県水海道市立鬼怒中学校	1	0
	日本大学理工学部社会交通工学科(副手)	1	0
	日本大学理工学部研究生	6	3
学校計		9	3
商社等	(株)大塚商会	1	0
	(株)カメラのキムラ	1	0
	(株)すかいらく 夢庵カンパニー	1	0
	(株)ダーバン	1	0
	(株)テオーダブリュー	1	0
	(株)ドリームコーポレーション	1	0
	brst TV	1	0
商社等計		7	0
来年度公務員受験	来年度公務員を受験する予定の者	8	3
未定		1	0
総計		153	18

7214 号室

教室事務室

越川 静子

〒 274-8501 千葉県船橋市習志野台 7-24-1

Tel. 047-469-5239 Fax. 047-469-2581

<http://www.trpt.cst.nihon-u.ac.jp>

